

SHIZUOKA

J・O・U・R・N・A・L

Vol.22 No.1 2012 (通巻184号)

目 次

巻 頭 言	『技師会の変遷』	会長 和田 健	1
会 告	第33回 静岡ふれあい広場(9/30)		2
	第56回 超音波部会研修会(10/13)		3
	第36回 MRI部会研修会(10/13)		4
	第39回 アンギオ部会研修会(10/27)		5
	第5回 中部放射線医療技術学術大会(静岡)(11/3~4)		6
	平成24年度 原子力災害時緊急対策研修会(11/11)		7
	おめでとうございます 永年勤続表彰		8
	新役員名簿		10
	新役員挨拶		11
	委員会・部会名簿		16
報 告	肺がん検診従事者講習会(3/10)		18
	平成23年度 静岡県放射線技師研修会(3/11)		20
	第1回(公社)静岡県放射線技師会通常総会 第17回 静岡県放射線技師学術大会(5/27)		22
	第72回(公社)日本放射線技師会定期総会(6/2)		24
	第55回 超音波部会研修会(6/16)		26
	診療放射線技師基礎技術講習(乳房撮影)(6/17)		27
	第2回 フレッシュアップセミナー(7/1)		28
学術論文	平成23年度 静岡県放射線技師研修会(5/27)		29
	第55回 超音波部会研究会(6/16)		35
	平成24年度 第1回理事会議事録(4/21)		43
	平成24年度 部会・委員会連絡会議 議事録(4/21)		50
	第1回 静岡県放射線技師会総会 議事録(抄)		53
	行事予定カレンダー		60



『技師会の変遷』

公益社団法人静岡県放射線技師会

会長 和田 健



昭和20年8月15日、小生この世に誕生して約1ヶ月後、暗く永かった第二次世界大戦も終わりを告げ、戦後まもなく急速に活発化して全国的な動向と共に本県としてもインフレと食料難の最悪な生活環境に直面しながらの労苦に深い感慨を起こさしめる。昭和23年8月22日日本放射線技師会東海支部、静岡地方会設立総会が静岡市で開催され組織化の第一歩を踏み出した。昭和24年第2回全国総会（仙台市）で各都道府県に支部を置くことが決定され、昭和24年7月3日静岡県放射線技師会設立総会を静岡市で開催し、第20番目の支部として承認される。会長に川島作太郎氏、副会長に松下貞一氏が選任された。その当時の会員は68名であった。技師法制定諸問題を討議するために臨時総会を開催し全員団結して本格的な運動に突入した。県技師会内部に国家試験のための教育委員会を発足し受験対策や講習会を連続的に実施した。

筆舌に尽くしがたい労苦と紆余曲折の末、昭和26年3月診療エックス線技師法は参議院を通過し、同年5月に衆議院本会議に上程され満場一致で可決され同年6月同法公布、8月同法及び同法施行規則が実施され、ここに身分法が制定された。この法律に対応して在来の静岡県放射線技師会の会名を変更して静岡県エックス線技師会となった。昭和27年11月に第1回診療エックス線技師特例試験が実施され引続いて昭和31年9月までに6回の特例試験が行われた。昭和29年5月法律施行に

よる技師学校を卒業し技師の第1回診療エックス線技師試験が行われた。この事実は我々技師の歴史において一つの重要な時点となる。身分法が確立され会員の放射線障害防止と各施設における放射線防護の完備及び待遇改善であった。その背景には身分法（資格）の面での安定は得たが県内での各施設の放射線防護及び待遇に著しい差があり、その改善は急を迫られていたからであった。昭和41年4月政府提案の診療放射線技師及び診療エックス線技師法案が国会参議院に上程され3度の継続審議の末、12月第54通常国会の冒頭解散により廃案となる。4月1日事件により技師法改正が急速に進展し昭和43年4月25日参議院社会労働委員会において今後の法運営に関する考え方が補足説明され4月26日に参議院、5月10日衆議院で可決成立した。そして44年後の今日、社団法人から公益社団法人に移行認定され同時に日本放射線技師会も公益社団法人に移行認定された。チーム医療の促進を基にして、読影の補助や各種画像検査の説明が義務づけられ、近未来には技師法の改正が急務である。静岡県放射線技師会10代目会長として、また公益社団法人初代会長として、「ふじのくに静岡」の技師会組織をより発展的に診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を図り、もって県民の健康維持増進に寄与するように願っています。

（一部35年史より抜粋）

会

告

『第33回 静岡ふれあい広場参加者募集』

(社)静岡県放射線技師会は、平成9年より社団法人活動として「静岡ふれあい広場」に参加してまいりました。

当会の活動は大変好評でして、「静岡ふれあい広場」参加ごとに無料体験を受けていただいている方が増えています。

例年、超音波部会、管理士部会、乳腺画像部会、医療安全推進委員会、役員にて運営してまいりましたが、一昨年から広く会員の皆様方にも参加していただいております。

本年も昨年同様多くの会員の皆様に参加、ご協力をお願いしたく、ご案内申し上げます。

記

- 【目 的】
 - ・ 社団法人として地域保健医療に関する活動の推進
 - ・ 日本放射線技師会の定める「レントゲン週間」の行動の一環
 - ・ 診療放射線に関する知識の普及啓発
- 【日 時】 平成24年9月30日(日) 9時00分より15時頃
- 【場 所】 静岡市青葉シンボルロード
- 【出展内容】
 - ・ 腹部超音波検査の無料体験
 - ・ 骨密度測定 of 無料体験
 - ・ 乳がん検診のすすめ
 - ・ 身近にある放射線について
 - ・ 医療被ばく相談
- 【参加資格】 会員
- 【募集人数】 若干名
- 【申込締め切り】 8月下旬
- 【申込方法】 下記まで氏名、所属施設、会員番号、連絡先、「静岡ふれあい広場参加希望」とご記入の上、ご連絡ください。

* 詳しい日時、内容、打ち合わせ等は、決まり次第こちらからご連絡させていただきます。

広報・福利厚生担当常任理事 鈴木 博寿

三島社会保険病院 電話 055-971-6197

メールアドレス kouhou@shizuhogi.jp

会 告

『第56回 超音波部会研修会』

下記の通り、第56回超音波研修会を行います。多数の参加をお待ちしております。今回は症例発表会をメインとさせていただきます。日頃の業務で経験した貴重な体験をこの機会に報告していただければ幸いです。

記

【日 時】 平成24年10月13日(土) 15:00～

【場 所】 (公社)静岡県放射線技師会 事務所

静岡市葵区本通1丁目3番地5 フェリス本通り202号 tel 054-251-5954

【参加費】 1000円

【内 容】 14:30 受付開始

15:00～15:20

メーカー講演

最新超音波診断装置の動向 富士フィルムメディカル(株)

15:20～15:50

腎血管性高血圧症における超音波検査について

静岡市立静岡病院 臨床検査科 杉山 弥生 先生

16:00～ 症例発表会

◆症例報告公募のお知らせ

今回は症例発表会と題して、広く会員の皆様に症例報告を公募いたします。

日頃の業務の中で得た、貴重な経験をこの場で報告して頂ければ幸いです。

応募については、メールにて受付します。

応募先 E-mail: shizuhogi_us@yahoo.co.jp

office word 形式により1ページ分の抄録を添付してお送りください。

内容は、主訴、既往歴、血液検査、生化学検査など 超音波画像診断像、他の画像診断、結果、考察等を記載してください。また、症例についての分野は問いません。

決して敷居は高くありませんので、若手のステップアップのためや自分自身の向上の為に是非応募してください。

会 告

『第36回 静岡県放射線技師会MRI部会研修会』

標記研修会を下記日程にて開催いたします。

教育講演と致しまして、頭頸部がんについて静岡市立静岡病院の池上先生より御講演を賜ります。また、メーカー講演及び会員発表については、頭頸部という領域をテーマとして、皆様、臨床で苦労されていると思われる脂肪抑制法についての講演及び発表を企画致しました。皆様ふるってご参加いただきますようお願い致します

記

【日 時】 平成24年10月13日（土）14:00～17:00

【場 所】 静岡市立静岡病院 東館11階 C会議室

〒420-8630 静岡県静岡市葵区追手町10番93号 TEL：054-253-3125

公共交通機関をご利用ください。また車で御来院を予定されている方は、病院の一般駐車場（有料 300円/1時間）をご利用ください

【参加費】 1,000円

【内 容】

13:30～ 受付開始

13:55～14:00 新MR部会役員紹介
（部会長挨拶）

14:00～14:50 教育講演
「頭頸部がんについて」（仮題）
静岡市立静岡病院 耳鼻咽喉科
池上 聡 先生

14:50～15:05 薬品メーカー情報提供
「造影剤メーカーからの情報提供」（仮題）
バイエル薬品株式会社

15:05～15:15 休憩

15:15～15:55 基礎講演（装置メーカー情報提供）

「脂肪抑制技術について～基礎から最新技術まで～」

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

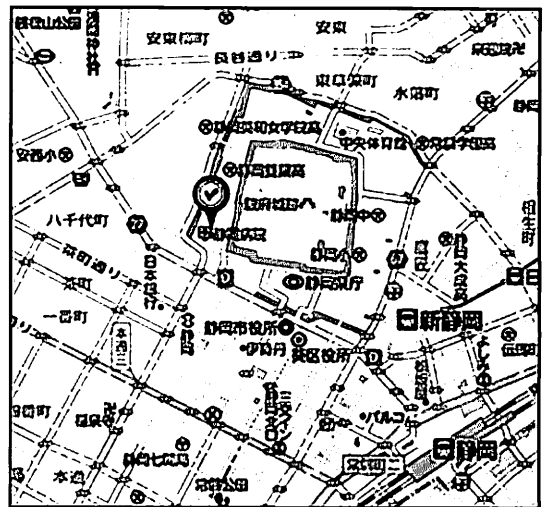
16:00～16:45 会員発表

「頭頸部領域のMR；脂肪抑制法の検討及び撮像技術と症例報告」

16:00～16:15 東部 富士宮市立病院 原 陽一 会員

16:15～16:30 中部 清水厚生病院 鈴木健一郎 会員

16:30～16:45 西部 磐田市立総合病院 松芳 圭吾 会員



会

告

『第39回 静岡県放射線技師会 アンギオ部会研修会』

第39回研修会は「アブレーション治療」に関する研修会を企画いたしました。

会員講演といたしまして「PCI・アブレーション治療の被ばく低減」に関する内容として、浜松医療センターの中村文俊先生に講演をお願いしました。

また、特別講演といたしまして「アブレーション治療の実際（仮題）」と題しまして、浜松医療センターの武藤先生よりご講演を賜ります。

多くの皆様のご参加をお待ちしています。

【日 時】 平成24年10月27日(土)
14:00～17:00

【場 所】 グランシップ／静岡県コンベンションアーツセンター（904会議室）

【共 催】 バイエル薬品株式会社

【参加費】 1,000円

【内 容】

メーカー講演（14:00～15:00）

・共催メーカー情報提供

（バイエル薬品株式会社 担当者様）

・装置メーカー製品紹介

（東芝メディカルシステムズ 担当者様）

会員講演（15:00～15:40）

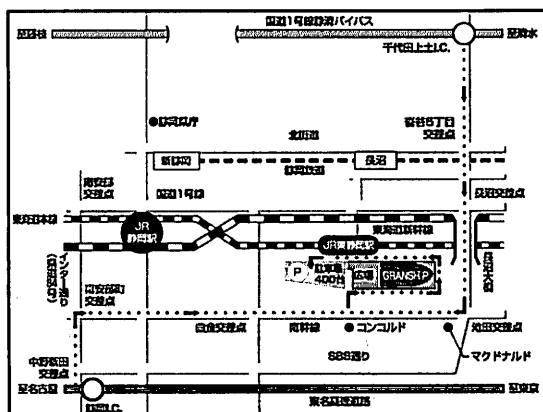
「PCIおよびアブレーションにおける被ばく低減の実際（仮題）」

浜松医療センター 診療放射線技術科 中村 文俊 先生

特別講演（16:00～17:00）

「アブレーション治療の実際（仮題）」

浜松医療センター 循環器科 武藤 真広 先生



当研修会は日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師認定機構の認定講習会として認定をいただいております。また、技師会が行う研修会は日本救急撮影認定機構の認定講習会として認定されています。

公益社団法人 静岡県放射線技師会 アンギオ部会

会 告

『第5回 中部放射線医療技術学術大会』

第5回 中部放射線医療技術学術大会は静岡県が当番となり浜松市にて開催されます。
大会テーマ「未来のベクトルを考える放射線技術」と題して、開催致しますので数多くの会員の皆様の参加と演題応募をお待ちいたしております。

【大会名】 第5回中部放射線医療技術学術大会（大会長 和田 健）
第21回中日本地域放射線技師学術大会
第47回日本放射線技術学会中部部会学術大会

【会 期】 平成24年11月3日(土)～11月4日(日)

【会 場】 アクトシティ浜松コンgresセンター
〒430-7790 静岡県浜松市中区板屋町111-1
Tel:053-451-1111 Fax:053-451-1123

【演題募集】 募集期間 平成24年7月3日(火)～8月21日(火)

【演題申込資格】 発表者は、日本放射線技術学会正会員または学生会員、
日本放射線技師会会員に限ります。

【演題申込方法】 第5回中部放射線医療技術学術大会ホームページより
オンライン登録方式で行います。
URL:<http://ccrt2012.umin.jp/>

【参加資格】 日本放射線技師会会員……………2,000円
中日本地域技師会会員……………2,000円
日本放射線技術学会正会員……………2,000円
非会員……………3,000円
日本放射線技術学会学生会員（社会人学生を除く）…無料

【内 容】 市民公開講座、シンポジウム、特別講演、特別企画、技術学会各研究会
一般演題、ランチョンセミナー、機器展示

【問い合わせ】 〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3543
聖隷三方原病院 画像診断部内
第5回中日本放射線医療技術学術大会事務局
Tel:053-436-1251 Fax:053-439-6896
E-mail:y.hero@sis.seirei.or.jp

会 告

『平成24年度 原子力災害時緊急対策研修会』

静岡県放射線技師会は、静岡県地域防災計画（原子力対策編）の協力団体に指定されております。研修内容は原子力編では、GM管取扱いと緊急被ばく汚染スクリーナー養成を目指した実習。地震編については、今年度より公益事業としての取り組みで専門の講師による公開講演を予定しております。貴重な実技講習の機会です。県民の安心・安全を守る為、また生涯教育もかねてご参加ください。

【日 時】 平成24年11月11日(日) 12:30～17:00

【会 場】 静岡県立総合病院 つつじホール(6階)

静岡市葵区北安東4-27-1 TEL 054-247-6111

*外来駐車場が利用可能ですが、乗り合わせにてお願いいたします。

【主 催】 (公社)静岡県放射線技師会：原子力災害時緊急対策委員会・企画調査委員会
管理士部会(放射線技師のためのセミナー)

【後 援】 静岡県健康福祉部、(公社)静岡県放射線技師会

== プログラム ==

12:30～ 受 付

13:00～13:20 【GMサーベイメーターの原理と取扱い】日立アロカ株式会社

13:20～14:20 【原子力災害におけるスクリーニング実習】

<協力> (公社)静岡県放射線技師会、中部電力、
浜岡原子力発電所人事保健課、日立アロカ株式会社

(10分休憩) 公開講演

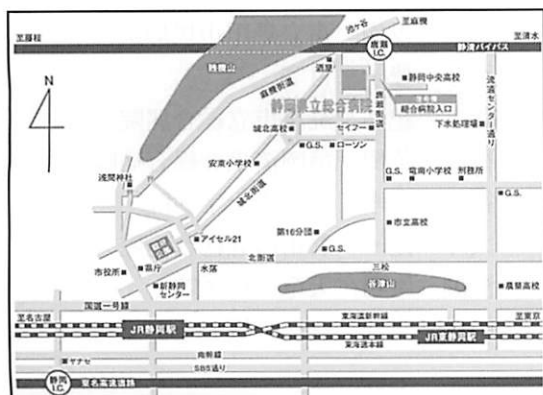
14:30～16:00 【東日本大震災と南海トラフ超巨大地震】

静岡大学理学部 教授 里村 幹夫 氏

16:00～17:00 【原子力防災対策における静岡県の取り組みについて(仮題)】

静岡県地震防災センター所長 小林 佐登志 氏

17:00～ 閉会挨拶



技師会員はIDカードをご持参ください。研修会終了後に原子力災害時緊急対策研修会受講表を渡します。

JR静岡駅(北口)前:20番乗り場:唐瀬線(三松經由唐瀬営業所行)→「県立総合病院入口」下車(徒歩3分):20番乗り場:上足洗線(上足洗經由唐瀬営業所行)→「県立総合病院」下車:10番乗り場:県立病院高松線(県立総合病院行・唐瀬営業所行)→「県立総合病院」・「県立総合病院入口」下車、タクシーをご利用の場合:JR静岡駅前より15分

おめでとらございます

公益社団法人 静岡県放射線技師会 永年勤続表彰者

《松 本 賞》

瓜倉 厚志

静岡県立がんセンター

《永年勤続35年表彰》

馬場 健治	御殿場石川病院	阿瀬川 敏	順天堂静岡病院
吉田 忠尚	おいしレディースクリニック	近藤 方司	静岡済生会総合病院
熊野 宏晴	静岡済生会総合病院	吉田 光晴	掛川市立総合病院
背戸 好廣	聖隷福祉事業団 法人本部事務局	田中 敏夫	総合病院聖隷三方原病院
三野 努	東海検診センター 浜松事業所	矢野 正幸	県立こども病院
井美恵美子	浜松医科大学医学部附属病院		

《永年勤続20年表彰》

大倉 善郎	伊豆保健医療センター	森 明子	賀茂医師会
澤瀬 敏之	共立蒲原総合病院	大迫 久孝	三島東海病院
橋口 光	自宅	篠田 雅弘	順天堂静岡病院
愛甲 泰久	順天堂静岡病院	村瀬 渉	沼津市立病院
根岸 賢哉	沼津市立病院	影山 佳久	裾野赤十字病院
望月 有美	JA静岡厚生連 清水厚生病院	山崎 俊樹	市立島田市民病院
野末 恭弘	市立島田市民病院	荻原 豊子	自宅
岩田 勉	焼津市立総合病院	鈴木 紀晶	焼津市立総合病院
望月 英紀	静岡県産業労働福祉協会	後藤 英樹	静岡済生会総合病院
斉藤 健一	藤枝市立総合病院	神谷 守孝	引佐赤十字病院
渡部 源五	自宅	大坪 健一	磐田市立総合病院
中嶋 俊一	総合病院聖隷三方原病院	濱洲 康司	天竜吉田医院
大坪 健一	磐田市立総合病院	中村 文俊	浜松医療センター
川島 和記	静岡県立総合病院		

《(公社)日本放射線技師会 35年永年勤続表彰》

石向田鶴男	市立静岡病院	高木 省一	富士市立中央病院
鈴木 清孝	市立島田市民病院	杉浦 良樹	総合病院聖隷三方原病院
八木 秀視	JA静岡厚生連静岡病院	山本 英雄	総合病院聖隷三方原病院
佐々木浩二	磐田市立総合病院	佐藤 好平	(社)富士小山病院
平田 哲生	静岡県立総合病院	秋山 敏一	藤枝市立総合病院

《役員感謝状》

石向田鶴男	市立静岡病院	廣瀬 信雄	自宅
延澤 秀二	自宅	菊池 直樹	静岡済生会総合病院
足立 敏明	社会保険桜ヶ丘病院	鈴木 武成	焼津市立総合病院
大木 義彦	藤枝市立総合病院	滝口 昇吾	NTT東日本伊豆病院
窪野 久行	遠州総合病院	藤池 悟	聖隷沼津病院
稲垣 充	静岡日赤病院	岩田 敏秀	富士宮市立病院
天野 仁志	掛川市立総合病院	塚本 隆男	御前崎市立総合病院
遠藤 佳秀	富士市立中央病院	荒木 重雄	掛川市立総合病院

《厚生労働大臣表彰》

中瀬 静登

おぎの整形外科

公益社団法人 静岡県放射線技師 新役員名簿

(任期：平成24年4月1日から平成26年5月25日)

会 長	和 田 健	浜松南病院
副 会 長 (委員会・企画)	田 沢 範 康	聖隷沼津病院
副 会 長 (会 務)	森 佳 久	市立島田市民病院
副 会 長 (学 術)	山 本 英 雄	聖隷三方原病院
理 事 (常任・総務)	三 浦 孝 夫	静岡県立総合病院
理 事 (常任・総務庶務)	畑 利 浩	市立島田市民病院
理 事 (常任・庶務一般)	片 山 昇	社会保険 桜ヶ丘総合病院
理 事 (常任・庶務会員管理)	西 谷 収 利	焼津市立総合病院
理 事 (常任・会計)	佐々木 幹 晴	JA静岡厚生連 遠州病院
理 事 (常任・編集)	島 田 洋 一	静岡赤十字病院
理 事 (常任・広報)	鈴 木 博 寿	三島社会保険病院
理 事 (組織・東部)	玉 田 宏 一	富士宮市立病院
理 事 (組織・中部)	児 玉 吉 彦	JA静岡厚生連 静岡厚生病院
理 事 (組織・西部)	寺 田 理 希	磐田市立総合病院
理 事 (学 術)	片 山 善 博	聖隷健診センター
理 事 (企画調査)	秋 山 洋	伊豆保健医療センター
理 事 (公益法人推進委員)	田 中 睦 生	聖隷浜松病院
超 音 波 部 会 長	奥 川 令	静岡済生会総合病院
M R I 部 会 長	大 川 剛 史	静岡県立総合病院
ア ン ギ オ 部 会 長	長 屋 重 幸	聖隷三方原病院
乳 腺 画 像 部 会 長	斉 藤 忍	聖隷予防検診センター
管 理 士 部 会 長	片 岡 純 也	聖隷浜松病院
表 彰 審 査 委 員 長	小 池 澄 男	自宅
選 挙 管 理 委 員 長	飯 塚 知 幸	JA静岡厚生連 清水病院
事 務 所 運 営 委 員 長	山 本 英 雄	聖隷三方原病院
情 報 管 理 委 員 長	池 谷 幸 一	富士市立中央病院
生 涯 教 育 委 員 長	天 野 守 計	藤枝市立総合病院
医 療 安 全 推 進 委 員 長	鈴 木 久 士	御前崎市立総合病院
災 害 対 策 委 員 長	田 沢 範 康	聖隷沼津病院
監 事	倉 田 富 雄	富士市立中央病院
監 事	近 藤 仁	静岡市立静岡病院
事 務 担 当 職 員	石 川 美代子	

新役員挨拶

新役員に一層のご支援お願いいたします

会 長

和田 健
医療法人社団綾和会浜松南病院



特例民法法人から公益社団法人に移行認定され、解散・設立登記が完了して平成24年4月1日公益社団法人静岡県放射線技師会は新たなスタートをきりました。振り返れば平成4年12月26日社団法人に設立認可され、20年の節目の年度に当たります。この任期では第5回中部放射線医療技術学術大会そして第55回東海四県放射線技師学術大会の開催、静岡県放射線技師会創立65周年記念式典など大きな事業を企画運営しなくてはなりません。

本会は診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を図り、もって県民の健康維持増進に寄与することを目的としております。この目的達成のためには、更なる公益目的事業を推進していかなければなりません。

公益社団法人初代会長として安定した会務が遂行できるまで新役員と共に県民の健康維持増進のために頑張っていく所存です。

会員の皆様のご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

副会長（委員会・企画）
災害対策委員長

田沢 範康
聖隷沼津静岡病院



この度、副会長を務めさせて頂く事になりました。今年度より公益法人としての新たな活動や「チーム医療の推進方策WG」にて診療放射線技師の業務範囲の見直しが検討され、いろいろな事が動き出す変革の時を迎えています。こんな歴史的な時期に担当するのは荷が重い反面、光栄な事と思います。

自分自身も技師としてもうすぐ20年目になり、折り返し地点となりますので、診療放射線技師という仕事を振り返り、今一度放射線技師を好きになれたらいいなあと思います。

会員の皆様も自分自身を振り返る場として技師会を活用されてみてはどうでしょうか。また、災害対策委員長も務めているので、任期中は大地震が来ないよう願っています。2年間よろしくお願いします。

副会長（会務）

森 佳久
市立島田市民病院



この度急遽、副会長を務めさせていただきます。市立島田市民病院の森です。30代の10年間、常任理事をやらせていただき、会のためになったかは甚だ疑問ですが、貴重な経験がその後の自分にとって大変プラスになったことに感謝しています。今回、神様が「そう思っているのだったら少しは恩返ししろ」と言っているのだと理解し、会員のみなさんのお役に少しでも立てるよう尽くしたいと思っていますので、よろしくお願いします。

副会長（学術）
事務所管理運営委員長

山本 英雄
総合病院聖隷三方原病院



この度、副会長並びに事務所管理運営委員長を務めさせて頂く事になりました。

2期目となる今期は、公益社団法人としてのスタートの年となります。執行部メンバーも大幅に入れ変わりが不安もありますが、新たに生まれかわったつもりで、会員にわかりやすい技師会運営に取り組んでいきます。また、担当する学術関連の企画についても会員の知識、技術、態度の向上を目指し、会員のニーズにあった内容を企画推進して行きます。

いずれにしても会員の皆様の協力がなければ成り立ちません。2年間、宜しく願い致します。

理事（常任・総務）

三浦 孝夫
静岡県立総合病院



2012年度より理事・総務の業務を務めさせていただくことになりました。県立総合病院の三浦と申します。総務の仕事は、学会の準備・運営、事務処理、外部機関等の連絡と多岐にわたっております。本会の緑の封筒に入る一枚の連絡事項も最終的に本人に渡るまでに多くの人の支えによって成り立っていることを痛感しています。白髪交じりの一年生で事務所のコピー機の使用もままならぬ自分ではありますが、本会に少しでも貢献できるよう努めさせて頂きたいと思っています。

ただ、本会も会員の皆様の支え無くして発展がありません。今後ともあたたかいご指導を宜しくお願い致します。

理事（常任・総務庶務）

畑 利浩
市立島田市民病院



昨年度に引き続き常任理事を担当させていただくことになりました、島田市民病院 畑です。技師会も「社団法人」から「公益社団法人」に移行しましたので、また新たな気持ちで会務に望みたいと思います。と言っても急に自身が変えられるわけもなく、能力値が上がるわけでもないので無理しない程度にがんばろうかなと思っています。

宜しくお願いいたします。

理事（常任・会計）

佐々木 幹晴
JA静岡厚生連遠州病院



今年度より常任理事会計を担当することになりました、遠州病院 佐々木幹晴と申します。技師会の活動は、20数年前若かりし頃、西部地区会のお手伝いをさせていただいたことはありますが、県技師会の仕事は今回が初めてとなります。会の運営など何も分からず、ましてや会計業務の経験はゼロです。前任の方や経験豊富な先輩の方々のご指導を受け、一から勉強していきたいと思っています。24年度公益法人化移行に伴い会計処理の内容も少し変わると聞いています。移行後スムーズな会運営ができるよう、がんばっていききたいと思いますので、宜しくお願いいたします。

理事（常任・庶務一般）

片山 昇
社会保険桜ヶ丘総合病院



平成24年度より常任理事（庶務一般）を担当することになりました社会保険桜ヶ丘総合病院の片山と申します。以前地区会の幹事を務めさせていただきましたが、県技師会でのお仕事は今回がまったく初めてです。知らないことばかりで皆様にご迷惑をおかけするかも知れませんが、前任の方をはじめ他の常任の皆様の協力をいただき、少しずつ仕事を覚えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

理事（常任・編集）

島田 洋一
静岡赤十字病院



この度、常任理事編集、情報管理委員を担当することになりました。静岡赤十字病院の島田洋一です。40代ですが、技師会の仕事はこれが初めてです。不安は多いですが、物を知るきっかけかもしれません。前任者の方や諸先輩方の力をお借りして何とかやっていきたいと思っております。皆様よろしくお祈りいたします。

理事（常任・庶務会員管理）

西谷 収利
焼津市立総合病院



今年度より（常任：庶務会員管理）を務めさせて頂きます焼津市立総合病院の西谷です。

まさか自分が技師会組織の一員になるとは思いませんでしたが、和田会長をはじめ、副会長・各理事の方々の足手まといに成らぬ様に、微力ながら努力したいと思っております。どうせやるなら楽しくやりたいものですが・・・、現在、会員管理の業務に戸惑い四苦八苦しています。

不慣れなためご迷惑をお掛けする事が多々あると思いますが、皆様方のご指導・ご協力をよろしくお願い致します。

理事（常任・福厚広報）

鈴木 博寿
三島社会保険病院



この度、常任理事として広報を担当させていただくことになりました三島社会保険病院の鈴木といいます。

静岡県放射線技師会は、今年度から「社団法人」から「公益社団法人」に移行しました。それにともない役員の責任や任務も変化し、静岡県民の皆様へ放射線技師会がどのような活動を行っているのかをお知らせする広報の仕事がさらに重要になっているようで、大変な任務を担当することになったと身が引き締まる思いです。

右も左も分からない新参者ですので、いろいろご迷惑をお掛けするとは思いますが、会員の皆様、他の役員皆様のちからをお借りしながら、何とか任務を全うして行きたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

理事（組織・東部）

玉田 宏一
富士宮市立病院



この度、東部地区の組織理事を務めさせていただきます富士宮市立病院の玉田です。このような形で技師会の運営に携わらせていただくこととなり、光栄に思う反面不安も感じております。まだまだ技師会の運営において分からないことが多くあり、ご迷惑をおかけすることも多くあると思います。まことに微力ではありますが、先輩各位ならびに会員の皆様のご助言、ご協力をあおぎ、技師会業務を全うしていく所存でありますので、よろしくお願い致します。

理事（組織・中部）

児玉 吉彦
JA静岡厚生連静岡厚生病院



中部地区から組織理事に選出されました静岡厚生病院の児玉吉彦です。以前に当院からも何人か県技師会役員が選出されてきましたが、大変な任務だなと他人事のように考えていました。今回、私自身は技師会の役は初めてですので、会員及び他の役員の皆様にご迷惑をおかけしないようがんばりたいと思います。

近年、県技師会の会員が減少傾向であると伺いました。中部地区も例外ではありませんが、組織理事として少しでも県技師会の活性化に貢献できればと思っています。よろしくお願い致します。

理事（組織・西部）

寺田 理希
磐田市立総合病院



今年度より2年間、組織理事に就任することとなりました磐田市立総合病院の寺田です。

静岡県放射線技師会が公益社団法人として新たな出発を迎えた節目の年であり、今まで以上に県民・会員に貢献できるように会務に努力していこうと思っています。2年間、学術理事として活動して会員の期待や不信感など色々と感じる事ができました。これからの経験を生かして、これからの技師会がみなさんから信頼されるような会になっていくように改善・改革を行っていききたいと思います。是非、技師会の企画事業に参加していただき、みなさんの声を聴かせていただきたいと思います。ご協力の程よろしくお願い致します。

理事（学術）

片山 善博
聖隷健康診断センター



会員の皆様こんにちは。学術理事を務めさせていただきますことになりました、聖隷健康診断センターの片山です。

昨今は空前の健康ブームで、新聞や雑誌、TVで「健康」という言葉を聞かない日はありません。これは、国が平成14年の健康増進法や平成19年のがん対策基本法などで、病院にかかる高齢者を減らし医療費の削減に繋げたいと画策しているためです。病気が酷くなって病院で多額の医療費を費やすより、検診を受けて早期に病気を見付け安価に済ませたい、また病気を予防したいと考えている訳です。臨床医学に予防医学も加えて、会員の皆様が満足できるものを企画運営できるように頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

理事（企画調査）

秋山 洋
伊豆保健医療センター



平成24年度・25年度と企画調査理事を担当させていただきます、伊豆保健医療センターの秋山と申します。過去に地区会の仕事をさせていただいたことはありますが、県技師会の仕事は初めて引き受けさせていただきました。不慣れたため、岩田前理事（富士宮市立病院）のようにはいかないと思いますが宜しくお願い申し上げます。

また、公益法人移行で新たな活動や役割も加わると思いますが、皆様のお力を借りて精一杯務めさせていただきます。

理事（公益法人推進委員長）

田中 睦生
聖隷浜松病院



昨期は会計として技師会に関わらせていただきましたが、今期より公益法人委員として立場は変わりましたが、2期目を迎えることとなりました。

今年度より静岡県放射線技師会は公益法人として新たなスタートをきりました。これからの技師会を公益性の高い法人として県民の皆様にも貢献出来るかをテーマに取り組んで行くことはもちろんのこと、技師会自体も公益法人として永年継続していくことが出来るように努めていきたいと思っています。

これからの技師会を運営していく上で会員皆様のお力添えは不可欠です。ご理解、ご協力の程お願いいたします。

超音波部会長

奥川 令
静岡済生会総合病院



今年から2年間超音波部会長の務めることになりました奥川です。よろしくお願いします。もうベテランの技師会会員ですので技師会の役員は幾つかしてきましたが、部会長は初めてですので初心に帰ってきて、がんばっていくつもりです。

年々部会研修会への参加者が減少しており、部会運営も大変な時期に部会長という大役が回ってきました。困惑している次第です。企画、内容をもう少し工夫しなければならぬのかもしれないと思います。皆さんにご意見を頂き、いろんなチャレンジをしていきたいと思っています。また、部会研修会にとらわれず、新たな部会活動も考えていきたいと思っています。

現在、福島県での子供の超音波甲状腺検診事業に参加協力できるよう、準備しております。会員の皆様にもご協力頂ける方がございましたらお知らせください。まだまだ福島は震災が癒えていません。

MRI部会長

大川 剛史
静岡県立総合病院



今年度よりMRI部会部会長の務めさせていただく静岡県立総合病院の大川 剛史と申します。私自身、このような大役を任されることは初めてですので、非常に不安であり、失敗もあると思いますが、努力して部会運営をしていきたいと思っています。研修会におきましては、皆様方の日常のお役にたてる内容とし、会員の皆様に満足いただける会にしていければと思っています。様々、至らないこともあると思いますが、ご指導のほどよろしくお願い致します。

アンギオ部会長

長屋 重幸
聖隷三方原病院



アンギオ部会を務めさせて頂きます、聖隷三方原病院の長屋重幸と申します。

血管撮影を中心としながらも異なったモダリティの情報も盛り込み、多くの方に参加して頂ける研修会を企画・運営して参りたいと考えております。この秋、10月には「アブレーション治療」に関する内容で準備を進めております。多くの方の参加をお待ちしております。

また、研修会に関するご要望やご提案などありましたら気軽に郵送下さい。私を含め6名の役員で頑張りたいと思います。

宜しくお願い致します。

乳腺画像部会長

斎藤 忍
聖隷予防検診センター



前期に引き続き、乳腺画像部会の部会長の務めさせていただくことになりました、聖隷予防検診センターの斎藤 忍と申します。

今年度の部会研修会は、MRI部会との合同開催を予定しておりますので、多くの会員の方のご参加をお待ちしております。

今後も会員の皆様と一緒に部会研修会など、盛り上げていきたいと思っておりますので、ご意見など頂ければと思います。

乳腺画像部会の取り組みへのご協力をよろしくお願い致します。

管理士部会長

片岡 純也
聖隷浜松病院



前期から引き続き2年間管理士部会長の務めさせていただくことになりました。今期も管理士部会は会員に対して、診療放射線による被ばくや機器の安全管理及び医用画像に関する知識の普及を目的としたセミナーの企画、原子力災害時の対応を学ぶ研修などを行なっていく予定です。

また、昨年ホームページ上に開設された被ばく相談コーナーでの対応も担当もしていきます。「ふれあい広場」等の機会を利用して県民に対し放射線安全利用に関する知識の普及活動も継続していきます。よろしくお願いします。

表彰審査委員長

小池 澄男
静岡済生会総合病院



今回も、表彰委員長をやることになった小池澄男と申します。医療現場を離れ、新たな生活を始めました。

今年度は、静岡県放射線技師会が公益法人となつて先輩諸兄の作り上げてきた物を元に、新鮮な第一歩を踏み出しました。表彰委員会としても、表彰基準を公益法人に相応しい物になる様再度確認していきたいと思っています。近年、永年勤続表彰に関して、対象者の関心が希薄になってきたように感じられます。20年、35年と技師生活の一つの節目と考え、総会には是非ご出席を願うものです。

選挙管理委員長

飯塚 知幸
JA静岡厚生連清水厚生病院



今まで委員会等のお仕事はいくつかさせていただきましたが、この度はからず選挙管理委員長の大役を仰せつかりました。

いま我々放射線技師が病院をはじめとして一般社会で、その存在を認められているのも技師会あってのことだと思います。

はじめてのことでもあり、なにもわからない状態ですが、選挙の管理執行に万全を期して公益社団法人静岡県放射線技師会発展の一翼をになえればと思います。

情報管理委員長

池谷 幸一
富士市立中央病院



今期も引き続き情報管理委員会を担当させて頂くことになりました富士市立中央病院の池谷です。昨年度は、新たな事業として「求人・求職情報」の掲載を開始しました。また、東日本大震災を真摯に受け止め、県民の皆様からの「被ばく・放射線検査のご相談フォーム」を設置致しました。

両企画ともに、ニーズは高く盛況に活用されています。本会も、本年度4月には公益社団法人に移行し、今後益々、必要性が高まっていく事が予想される本事業ですが、内容を充実させると共に、迅速に情報伝達できる組織作りや、より一層県民および会員の皆様のご意見がとり入れられる仕組み作りができたかと考えています。

前向きに頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

生涯教育委員長

天野 守計
藤枝市立総合病院



今期にて生涯教育委員長の任を3期迎えました藤枝市立総合病院の天野守計です。

生涯教育としては日放技依頼の講習会の開催がメインとなります。

中日本地域における各種講習会、フレッシューズセミナー、各資格の更新などの企画を県内を中心に活動しております。皆様の参加をお待ちしております。

医療安全推進委員長

鈴木 久士
市立御前崎総合病院



引き続き、医療安全推進委員会を担当させていただきます市立御前崎総合病院の鈴木です。

医療安全に関する研修会等は皆様の勤務先でも開かれていることが多く、また多岐にわたるためターゲットが絞りにくいという点を二年間の反省として、気持ちを新たにスタートしたいと思っています。ご承知のように今年度から公益法人化となり会員のみならず、県民の皆様に向けての活動も必要となってきますので、会員皆様のお力をお借りし県民の皆様を受け入れられることを目指したいと考えています。どうかご支援、ご協力をお願いします。

監事

近藤 仁
静岡市立静岡病院



今年度より監事に任命されました。静岡市立静岡病院の近藤です。

静岡県放射線技師会は公益法人になり監事の職務が色々変わると聞いています。自分にこの様な大役が務まるのか解りませんが、倉田富雄監事に教えていただきながら頑張っていきたいと思いますので皆様のご支援とご協力をお願い致します。

監事

倉田 富雄
富士市立中央病院



引き続き監事を担当する富士市立中央病院の倉田です。

今年度より静岡県放射線技師会は公益法人となり、業務監査の比重が大きくなると考えています。

静岡県監査後に、監査のあり方の見直しを含め、継続性のある監査を目指し監査チェックシート等を作成していきたいと思っています。会員のご協力をお願いします。

静岡県放射線技師会 委員会・部会名簿

(任期: 平成24年4月1日～平成26年5月25日)

【編集委員会】

島田 洋一 静岡赤十字病院
稲垣 充 静岡赤十字病院
片山 昇 社会保険 桜ヶ丘総合病院
鈴木 博敏 三島社会保険病院
三輪 則夫 静岡済生会総合病院
大瀧 篤志 静岡市立清水病院

【選挙管理委員会】

飯塚 知幸 JA静岡厚生連 清水病院
加藤 浩千 聖隷三方原病院
川合 宏明 JA静岡厚生連 遠州病院
増田 秀道 静岡市立総合病院
井出 宣孝 富士市立中央病院
篠田 雅弘 順天堂大学医学部附属 静岡病院

【学術委員会】

片山 善博 聖隷健康診断センター
平入 哲也 順天堂大学医学部附属 静岡病院
北爪 宏幸 静岡健康管理センター
高橋 洋一 菊川市立総合病院
大川 剛史 静岡県立総合病院
長屋 重幸 聖隷三方原病院
中村 元哉 浜松南病院
天野 宜委 磐田市立総合病院
有谷 航 浜松医療センター

【事務所設立推進委員会】

山本 英雄 聖隷三方原病院
玉田 幸一 富士宮市立病院
児玉 吉彦 JA静岡厚生連 静岡病院
寺田 理希 磐田市立総合病院
田中 睦生 聖隷浜松病院
石向田 鶴男 静岡市立静岡病院
三浦 孝夫 静岡県立総合病院

【企画調査委員会】

秋山 洋 伊豆保健医療センター
七尾 光浩 順天堂大学医学部附属 静岡病院
玉田 宏一 富士宮市立病院
江口 幸民 浜松医療センター
高山 雄一 聖隷予防検診センター
児玉 吉彦 JA静岡厚生連 静岡病院
橋本 隆 JA静岡厚生連 静岡病院

【情報管理委員会】

池谷 幸一 富士市立中央病院
畑 利浩 市立島田市民病院
片山 昇 社会保険 桜ヶ丘総合病院
西谷 収利 焼津市立総合病院
島田 洋一 静岡赤十字病院

【表彰審査委員会】

小池 澄男 静岡済生会総合病院
川守 靖剛 社会保険桜ヶ丘総合病院
橋本 和明 国際医療福祉大学附属 熱海病院

【生涯教育委員会】

天野 守計 藤枝市立総合病院
奥川 令 静岡済生会総合病院
井上 忠之 菊川市立総合病院
森 佳久 市立島田市民病院
秋山 敏一 藤枝市立総合病院
曾我 隆正 富士脳障害研究所附属病院
畑中 貴台 掛川市立総合病院

【医療安全推進委員会】

鈴木 久士	市立御前崎総合病院
一杉 光俊	沼津市立病院
児玉 吉彦	JA静岡厚生連 静岡病院
江口 幸民	浜松医療センター
池谷 正治	市立島田市民病院
河井 淑祐	藤枝市立総合病院

【災害対策委員会】

田沢 範康	聖隷沼津病院
望月 茂	沼津市立病院
児玉 吉彦	JA静岡厚生連 静岡病院
杉山 真弓	静岡済生会総合病院
片岡 純也	聖隷浜松病院
榛葉 豊	掛川市立総合病院
天野 宜委	磐田市立総合病院
高山 雄一	聖隷浜松病院

【超音波部会】

奥川 令	静岡済生会総合病院
中村 元哉	浜松南病院
玉田 幸一	富士宮市立病院
遠藤 佳秀	富士市立中央病院
溝口 賢哉	藤枝市立総合病院
天石 孝紀	清水医師会
廣澤 和美	市立島田市民病院
春田 孝博	掛川市立総合病院

【MRI部会】

大川 剛史	静岡県立総合病院
阪口 充	沼津市立病院
坪内 秀生	聖隷沼津病院
西谷 収利	焼津市立総合病院
高橋 洋一	菊川市立総合病院
荒木 重雄	掛川市立総合病院
内田 知宏	JA静岡厚生連 遠州病院

【アンギオ部会】

長屋 重幸	聖隷三方原病院
井出 敦之	富士市立病院
山内 紘作	国際医療福祉病院
杉浦 靖幸	静岡県立総合病院
市川 篤史	浜松医療センター
松居 隆之	聖隷浜松病院

【乳腺画像部会】

斉藤 忍	聖隷予防検診センター
天野 宜委	磐田市立総合病院
井上 忠之	菊川市立総合病院
天野 守計	藤枝市立総合病院
内田 千絵	浜松労災病院
大形 美咲	聖隷浜松病院
上棚 俊之	有隣厚生会 富士病院
神谷 有希	掛川市立総合病院

【管理士部会】

片岡 純也	聖隷浜松病院
池谷 正治	市立島田市民病院
松谷 季能	聖隷予防検診センター
清 広和	富士宮市立病院
有谷 航	浜松医療センター
榛葉 豊	掛川市立総合病院
河井 淑祐	藤枝市立総合病院
白鳥 順一	静岡済生会総合病院
神田 直樹	富士市立中央病院

* 太文字は委員長、部会長

* 会員名簿順

肺がん検診従事者講習会

平成24年3月10日(土)
静岡県医師会館6階 第1会議室

平成24年3月10日(土)、静岡県医師会館に於いて平成23年度の「肺がん検診従事者講習会」(静岡県対がん協会と本会主催、(社)静岡県医師会後援)が開催された。参加者は医師21名、放射線技師13名、合計34名でした。



講師には、静岡県立がんセンター呼吸器外科医長の大出泰久先生を招き、「肺がんの外科治療最前線」と題してお話していただきました。昨年は静岡がんセンターの中川先生のご講演を3月12日に予定していましたが、

前日の未曾有の東北大地震で中止となりました。明日でちょうど1年になりますので、この場をお借りして被災された皆様に弔意を申し上げます。

まず、大出先生の講演は、

- ① 近年の肺がんの動向について
 - ② 現在の最新の治療法について
 - ③ 静岡がんセンターの肺がん治療の成績について
- 三つのテーマについて話されました。

まず、肺がんの動向については国民の死因第1位は1981年から悪性新生物で中でも肺がんは死亡数としては最も多く、2009年のデータでは男性は第1位、女性は大腸がんに次いで第2位となっている。男女合わせて、年間7万人弱が死亡している状況です。これは1998年から男女合わせた死亡率のトップを維持しています。増倍傾向をみますと1990年から男女ともほぼ横ばいにはなっていますが、高齢化していますので肺がんの死亡数では年々増えている。罹患数で表しますと、男性は胃がんに次いで第2位、女性は大腸がん、乳がん、胃がん、大腸

がんに次いで第4位ですが、治しにくいがんで死亡率は高い。これを反映して、国内の肺がんの手術件数は年間3万件に達している。

肺がんの対策としては予防(禁煙)と早期発見(検診)ということになります。2010年の国立がんセンターのデータでは男性では4人に1人、女性では5人1人しか検診を毎年行っていないのが実情です。肺がん検診率50%を目標にしていますが、まだまだ低い。静岡県では全国平均よりは高いが30%には到達していない。

次に最新の外科治療については、近年の動向として2つの大きな流れがあります。1つは治り易い肺がんはなるべく患者様の負担を少なく、切除範囲を最小限にして傷も痛みも少ない低侵襲手術があります。2つ目は手術だけでは治し難い肺がんを手術+化学療法や放射線治療を用いて集極的に治す方法があります。低侵襲手術は1933年に根治を目的とした手術がグラハムにより行われ、肺門部の扁平上皮がんで左肺全摘だった。1960年にはケーハンが「がんが出来た肺葉とリンパ節を系統的に郭清しなさい」という論文を出された。現在もこの術式が肺がんの根治的標準手術になっています。切除には肺葉切除や楔状切除、区域切除がありますが、再発率などをみますと、近年は肺葉切除が主流となっています。摺りガラス状の肺がん(GGO、GGA)は治り易く、5年生存100%の肺がんです。摺りガラス状肺がんに対しては縮小切除が行われています。日本では腫瘍研究グループが2つの臨床試験を行っています。

1つは摺りガラス状肺がんでほぼ非浸潤がんで治りが良いことが予想され、楔状切除をして、予後の解析中です。

2つ目は2cm以下の肺野末梢の小型肺がんで浸潤ありで楔状切除では不安なものを肺葉切除か

区域切除を行い、その比較試験をしています。一方、米国でも同じように肺野末梢の2 cm以下の肺がんを対象に区域切除、縮小切除もしくは肺葉切除の比較試験を行っています。日本と米国の違いは日本では腫瘍の大きさだけでなく、その性状も加味しています。米国は楔状切除を対象にしているが、日本は3つの切除を対象に比較試験をしている。この結果で縮小切除術が認められれば、世界で縮小切除が肺がんの標準手術になると思われます。2009年の日本胸部外科学会の発表では肺がんの術式は肺葉切除が全体の3/4、区域切除が9.2%、部分切除が12.9%で肺葉切除が多いが、これから部分切除が増えていくだろう。今後はどのようながんなら、縮小切除をしてよいのかを検討していかなければならない。1990年頃よりVATS（胸腔鏡補助下）手術も低侵襲手術として行われている。これはモニターや機器が急速に発達したことによる。VATSはリンパ節に転移していない小型肺がんでは使われるが、日本では開胸とVATSの併用（HYBRID）で行われることが多いが、開胸かVATSかの明確な住み分けはまだ、今後の課題といえる。

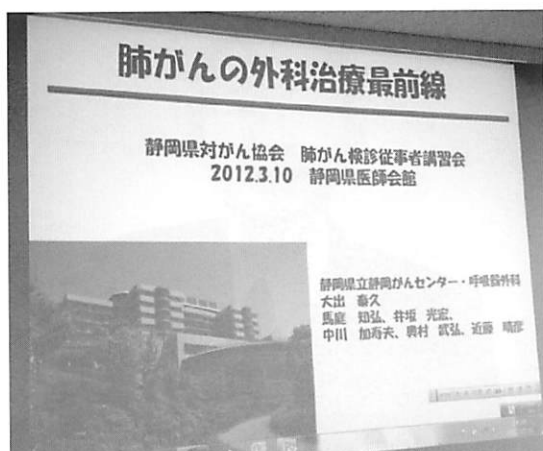
RATS（ロボット支援）手術も最近、出てきました。完全にロボットにする訳ではなく術者が操作BOXに入り遠隔操作して4つのアームを動かすというものです。静岡がんセンターでも昨年、12月に婦人科、大腸外科に導入された。呼吸器外科も来年度に導入されます。世界では米国や韓国が多く導入されています。まだ保険適応はされてなく、1台約3億円します。VATSに比べRATSはモニターの画質が格段に良く、細かい所も3Dで鮮明に観えるのですが、今年になって臨床試験の結果が出てきたところ、手術時間、入院期間、合併症などは従来の手術とあまり遜色がないと報告されました。予後の成績もあまり差はないとのこと。

最後の静岡がんセンターの治療成績ですが、2002年9月に開院して、病床数569床、医師は200人強、放射線技師42人います。特徴としては、ほぼ全例、PET検査をおこないます。昨年、当科で330例の手術を行い、その内3/4が肺がん手

術でした。肺がん手術は230名で222名が根治切除できました。過去3年で660件の肺がん手術を行っています、その発見条件をみますと半分が検診或いはドックで、通常発見は2割しかありませんでした。そして多いのが他の病気を継起に発見されるのが2割強あります。2009年12月までの肺がん手術の1024例の成績は平均年齢が66.8歳、男女比は6：4、喫煙は男63%、女37%です。

組織系は緑がんが68%、扁平上皮がんが20.3%で術式は胸開肺葉切除系統的郭清が標準ですので、肺葉切除が83%、区域切除が13.9%、手術時間の平均が4時間、出血量111ml、合併症は24%、在院日数は平均15日、手術死亡は0です。これからも丁寧な手術を心がけていきます。

(前常任理事 菊地直樹)



平成23年度 静岡県放射線技師会研修会 報告

平成24年3月11日(日)

パルシェ7階 第1会議室

平成23年度静岡県放射線技師研修会が平成24年3月11日(日)、パルシェ7階第1会議室にて開催されました。今回は「ヒューマンエラー防止への工学的アプローチ」「肝臓領域における診断から治療まで」についての講義を行いました。以下、当日に行った講義内容を紹介します。

【ヒューマンエラー防止への工学的アプローチ】では、中央大学理工学部経営システム工学科教授の中條武志先生に講義をお願いしました。



講義内容としては、①ヒューマンエラーの特性、②エラープルーフ化の原理、③エラー防止のためのチーム活動、④エラー防止の組織的推進などがありました。我々放射線技師にとってもヒューマンエラーの防止は永遠のテーマとなっています。

放射線技師が関わるヒューマンエラーとして患者間違い・左右間違い・AP、PA間違い・部位間違い・方法間違い・装置取扱い間違い・患者情報

の見落としなどが挙げられます。それに対して注意力・教育・訓練・確認によって防げるかと言われると必ずしもそうではありません。人が1日中注意力を集中させ持続することは難しく、教育や訓練においても動機付けが役立たない場合があります。複数の人による確認においても、ある統計によると3人以上が絡む確認では2人で行う場合より間違いが多く、人が多ければいいとはいえません。そこでヒューマンエラー防止について先生はエラープルーフ化の5つの原理を唱えています。

エラープルーフ化とは、人的エラーに起因する問題を防ぐ目的で作業を構成する人以外の要素、すなわち薬剤、機器、文書、手順等の「作業方法」を改善することをいいます。具体的には、①排除→作業の目的やそれに付随する危険に関わる条件を変えることでエラーを起こしやすい作業や注意を不要にする。②代替化→人が果たさなければならない記憶・知覚・判断・動作の機能の内、エラーしやすいものを機械等のより信頼できるもので置き換える。③容易化→人が果たしている記憶・知覚・判断・動作に機能を確実にこなせるよう、作業を人にとって容易なものにする。④異常検出→エラーに起因する異常が引き続くプロセス中で発見され、是正処置がとられるようにする。⑤影響緩和→冗長化したり、制限や保護を設けることで、エラーの影響を緩和・吸収するとなっています。

エラープルーフ化を実践するに当たりヒューマンエラーや人間の特性を理解したアプローチが必要で、様々なツールを活用し、エラーを未然に防ぐためのチーム活動を組織として支えることが重要ということでした。皆さんもエラープルーフ化をぜひ試してヒューマンエラー防止へ役立てて下

さい。

【肝臓領域における診断から治療まで】では、バイエル薬品ラジオロジー&インターベンショナル事業部の、中川裕幸先生に講義をお願いしました。



内容を紹介します。まず肝臓の概説として肝臓の働きや解剖についてのお話がありました。次にMRI造影剤EOBプリモビストを使用した肝臓MRIの病変別の症例や、MDCTでは描出されなかった小病変の検出と治療方針の決定に役立った症例の報告がありました。その他定期的肝細胞癌のスクリーニングの対象と方法や、High risk noduleという概念の提唱についてのお話がありました。以上EOBプリモビストを使用した肝臓MRIの有用性について診断から治療方針の決定までたいへんわかり易く講義していただきました。

(企画調査理事 岩田敏秀)

第1回 公益社団法人 静岡県放射線技師会通常総会 第17回 静岡県放射線技師学術大会

平成24年5月27日(日)
富士市勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」5階会議室



平成24年5月27日(日)富士山を一望できる富士市勤労者総合福祉センター「ラ・ホール富士」5階会議室にて、記念すべき第1回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会と第17回静岡県放射線技師学術大会が開催されました。大会のテーマは「県民に貢献する放射線医療」で、参加人数は174名(正会員;162名、賛助会員;10名、一般;2名)でした。

天候にも恵まれ雄大な富士山の下で、活気に満ちた素晴らしい大会となりました。



第1回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会

総会挨拶において和田会長より、2012年4月1日をもって「公益社団法人静岡県放射線技師会」として新たなスタートがきれたことが報告されました。そして、医療を取り巻く社会環境が厳しいものになっていく中、放射線技師はチーム医療の一員として県民の医療の安全と高度な医療技術の提供に努め、継続的なスキルアップと効率的な医療の実践こそが、県民に対する保健医療の向上に寄与するものである。今年度はチーム医療の一環としてCT検査における造影剤の抜針、下部消化管造影におけるネラトンカテーテルの抜去についての講習会を予定していること、入会促進のため入会金及び再入会金の無料化、会費の納入期限(9/30)等についてお話しされました。



表彰では、永年勤続表彰「35年;11名、20年;27名」そして松本賞の表彰があり、県技師会への貢献と研鑽が称えられました。

その後、議事に移り平成23年度事業報告、決算報告、監査報告がされ、会場からは「松本基金」の名称変更等の質疑応答がありましたが、全ての議案は賛成多数で可決されました。議事終了後、新役員の紹介があり総会は無事終了しました。



ランチョンセミナー

今回のランチョンセミナーは、アジアで最初にGE社製MR装置のフラッグシップ機である「Discovery MR 750w3.0T」の使用経験を中心に臨床画像も含めて、聖路加国際病院の船田重和技師より紹介していただきました。静磁場強度に比例してSN比が高くなるためより高画質になることやワイドボア（70cm）により磁場の不均一を生じやすい（シミングが重要）など、装置のメリット、デメリットを、また3.0Tの場合はSAR（単位重量あたりの熱吸収比）が増大するため、フリップアングルを下げるなど工夫が必要であると講演されました。



公開講演

公開講演は、2010年4月にオープンした聖隷健康サポートセンターshizuokaの所長である鈴木美香先生に、「わが国におけるがん検診の現状と将来への展望」というテーマでお願いしました。今、厚生労働省の研究班により死亡率減少効果が認められているものは①胃のバリウム検査、②肺の単

純写真、③子宮がん検診、④マンモグラフィによる乳がん検診、⑤大腸の便潜血検査の5つで、国は平成19年4より施行されたがん対策基本法の中で、検診受診率を5年間に50%にすると目標を立てているが、現状は20～30%である。中でも働き盛りの女性のがんが20代（男性の1.6倍）、30代（男性の3倍）で増加しているため、検診を受ける習慣をつけることの大切さを強調されていました。

研究発表

今回の演題数は21演題でした。MRI、超音波、X線撮影・TVなど、RI、CTの5つのセッションで座長のみならず会場からも質疑応答があり、参加人数が多かったこともあって熱気溢れる学術大会となりました。会場へ足を運んでいただいた会員の皆様に心より感謝致します。また、本大会を企画・運営していただいた役員の皆様、大会をサポートしていただいた東部地区会の皆様にも厚く御礼申し上げます。

次年度は西部地区での開催となります。公益社団法人として生まれ変わることでできたこの会が、これからも益々発展していくことを願っています。

（学術理事 聖隷健康診断センター 片山善博）



第72回 公益社団法人 日本放射線技師会定期総会

平成24年6月2日(土)10:00
科学技術館サンエンスホール(東京都)



平成24年6月2日(土)10:00科学技術館サンエンスホール(東京都)において第72回公益社団法人 日本放射線技師会定期総会が開催されました。

公益社団法人として新たなスタートを切った初めての総会であり、本県から5名(1名欠)の代議員が参加しました。

冒頭、中澤会長の挨拶では、放射線業務に関するグレーゾーン(注腸、抜針等)についての対応には会員のアンケート調査結果が多いに役立ったが、診療報酬改訂においてはデータ不足が指摘された。今後も会員の協力によるアンケート調査を行いエビデンスを持って望みたいとのことでした。

引き続き表彰委員会より功労賞(2名)、永年勤続者50年(37名)永年勤続者30年(346名)の表彰状、ならびに第27回日本放射線技師学術大会開催県青森県放射線技師会に感謝状が授与されました。

平成23年度の物故者50名に対して黙祷が行われました。

総会運営委員会より代議員190名中出席173名、委任状17名で総会成立が確認されました。

議長には、石岡 亮(北海道)、篠原健一(東

京)が選出され議事が進行しました。

第1号議案(平成23年度事業報告)

東日本大震災に対する技師会としての対応(サーベイヤーの派遣、検案前遺体のサーベイ、放射線被ばくに関する個別窓口相談)の報告、診療放射線技師の業務拡大、診療放射線技師の養成は技師の手で行うよう要望書の提出、入会促進に向けてフレッシューズセミナーの開催により多くの新人が入会した。28,295人→28,597人(302名増)

管理者養成研修プログラムによる技師長、ミドルマネジャーの育成研修、女性サミットの開催、第27回診療放射線技師学術大会:青森の成功報告、第71回臨時総会においての社団法人解散、公益法人取得に向けた作業の報告がありました。また、追加報告としてデータベース委員会より新規JARTシステムの開発の経緯報告がありました。

会場から、会員数減少のためには入会の手続きの簡素化が望まれると本部に意見が出た。

採決結果:反対0、保留0、賛成179

第2号議案(平成23年度決算報告)

収入面で会員数減少に伴い会費収入が前年比-1546万6000円でした。収支差額は4733万9089円の増でした。

引き続き独立監査人の監査報告、監査報告あり適正に処理されているという報告でした。

採決結果:反対0、保留0、賛成179

第3号議案(平成24年度事業計画案)

公益社団法人として活動計画の柱として

- ・東日本大震災に伴う被災地への復興と被災者に対する支援活動
- ・診療補助の拡大に伴う全国統一の臨床研修を実施
- ・診療放射線技師法の第1次改正に向けた事業の展開
- ・医療法第6条に基づいた広告のできる認定・専

門技師制度構築事業の展開

- ・管理者、ミドルマネジャー養成研修の実施
 - ・第28回日本診療放射線技師学術大会の実施
 - ・医療関連有害事象に対する損害賠償保険を会員全員加入の実施
- が提案された。

採決結果：反対0、保留0、賛成179

第4号議案（平成24年予算案）

収入合計4億9848万3000円、支出額は5億8384万円を予定し、その中に全会員対象の損害保険1500万、65周年記念事業1500万円を計上しているため、単年度ではマイナスになってしまうため会員増が必須であると報告された。

採決結果：反対0、保留1、賛成178

第5号議案（定款の一部改正について（名称変更））

会の名称を国家資格名称と同様に「日本診療放射線技師会」と変更し、可決された場合は定款、諸規定の変更を訂正するとの案が提案されました。

会場より「診療X線技師」に配慮した説明が必要ではないかと意見が出されました。技師会として会員の中に何名X線技師がいるか把握していない)

採決結果：反対0、保留13、賛成166

第6号議案（組織規程の改正について）

円滑な業務遂行を行うために「運営会議」を設置するための提案でした。

採決結果：反対0、保留10、賛成169

第7号議案（平成24・25年度役員の選任について）

定款27条並びに役員選任規程のに基づき立候補の届出を受理し、候補者一覧が提示され定数以上に立候補があった全国理事（14人）立候補者16人の1分間スピーチを行った後、投票が行われました。今回から採決票にマークシートを利用し、投票が行われ、採決までの時間が短縮されました。投票結果が、スクリーンに映し出され新しい役員幹事3名、外部理事2名、地域理事8名、全国理事14名が決まりました。その後、理事会が開催され、会長：中澤靖夫（東京）、副会長：小川清（埼玉） 副会長：井戸靖司（岐阜）が再任されました。

公益社団法人認可後初めての総会で定款、規程との刷り合わせ不十分な面もありましたが無事終了しました。

今年度スローガン

「国民・医療者と協働し、質の高い医療を提供しよう」

（副会長／山本英雄）



第55回 超音波部会研修会

日時:平成24年6月16日(土)

場所:静岡済生会総合病院 講堂

6月16日に静岡済生会総合病院に於いて、第55回超音波部会研修会を行ないました。生憎の天気のため、参加者の減少に歯止めは掛からず、今回も寂しい研修会となってしまいました。今後は会員の興味を引くような新たな企画を考える所存です。

最初はメーカー講演から、今回は日立アロカメディカル(株)による最新超音波診断装置の動向というテーマで講演していただきました。

日立アロカといえば、RVS、エラストグラフィなど最新技術を駆使した超音波診断装置を販売しており、興味ある内容でした。

中でもエラストグラフィの肝臓への応用は今後注目されるかもしれません。現在、フィブrosisに代表される肝臓組織のび慢性評価を行うもので、新たな肝臓の評価になりうるか期待が集まっている技術でありました。

次に会員による症例報告です。最初は富士宮市立病院玉田会員から、虫垂粘液嚢胞腺腫の症例が報告されました。肝臓に膿瘍が形成されており、炎症反応が強いことから急性虫垂炎との鑑別が困難であったと報告されました。また、虫垂粘液嚢胞腺腫との鑑別も重要であると述べられました。

続いて、島田市民病院の宿島会員より、多発隔壁胆嚢の症例が報告されました。この診断のために3Dを駆使して、胆嚢の経時的なボリュームを計測し、収縮機能検査を行っていました。今後この症例の追跡検討が重要であるようです。

続いて、掛川市立総合病院榛葉会員から、診断に苦慮した腹部腫瘤について報告がありました。胆嚢、脾臓、十二指腸に跨り、どこが原発であったか不明であったと報告されました。

教育講演として、MRI部会より菊川市立病院高橋会員に「肝臓のMRIの基本と症例」と題し

て講演して頂きました。MRIといえば今や肝臓の画像診断の中心に位置し、超音波検査を行ううえでも比較対象の画像診断の一つであります。また、EOB・プリモビストの造影は、ソナゾイド超音波造影と類似する部分があり知識として知る必要があります。高橋会員は、大変わかりやすいプレゼンテーションで、短時間ではありましたが基礎から症例にいたるまで話されました。

最後に特別講演として、藤枝市立総合病院の秋山会員に講演して頂きました。秋山会員は前々の超音波部長で、昨年「腹部超音波ポケットマニュアル」発刊に続き、今年は新たに「乳房超音波ポケットマニュアル」を発刊されました。そこで発刊を記念し、講演をして頂くこととなりました。

講演では、腹部、体表、心臓、血管とほぼ全領域について、基本的なことではありましたがわかりやすく要約された内容でした。しかしながら、発刊された本についてはあまり触れていなかったようなので、紙面の最後を秋山先生の発刊図書の報告とさせていただきます。

「腹部超音波ポケットマニュアル」「乳房超音波ポケットマニュアル」共に、定価:2520円(本体2400円+税)と非常に安くわかりやすい本です。もち歩きにも便利な新書版サイズです。是非、お買い求めを! (超音波部会 奥川 令)

日本放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」報告

平成24年6月17日

浜松アクティシティコンgresセンター53,54会議室

診療放射線技師基礎技術講習「乳房撮影」を6月17日（日）に、浜松アクティシティコンgresセンター53, 54会議室にて行いました。

この講習会は、以前は鈴鹿の研修センターにて行っていましたが、建物の問題や、全国統一講習会の開催場所としては利便性が低いため、今まで開催してきた内容のものを、全国各地域単位にて行うことになりました。

静岡県は中日本地域（東海4県+北陸3県）の位置にあり、今後の中日本地域において、順次開催予定の講習は「一般撮影」、「消化管造影」、「エックス線CT検査」、「MRI検査」、「核医学検査」、「超音波検査」、「放射線治療」などがあり、来年以降も継続して行っていきます。また日本放射線技師会が準備しているものは、

がん医療講習：「乳房検査」、「消化管検査」、「肺がん検査」、「がん診療」。

画像検像講習：「頭頸部領域」、「胸部領域」、「腹部領域」、「骨軟部領域」、「循環器領域」。

読影講習：「頭頸部領域」、「胸部領域」、「腹部領域」、「骨軟部領域」、「救急撮影領域」、「マンモグラフィ」、「血管撮影領域」があります。

今年度の当県の基礎技術講習は「乳房撮影」が担当となりました。参加人数は27名で、遠くからの参加者では富山県の方がみえました。

内容としては、乳癌の臨床、読影とカテゴリー分類、マンモグラフィの基礎と品質管理、デジタルマンモグラフィ、撮影技術と臨床画像評価基準、乳腺超音波、乳腺MRIを行い、最後に臨床技術能力検定として、各講師が5問ずつ出題し計35問の試験を行いました。

上記の講習会は地域ごとに振り分けられて行っていくしますので、興味のある講習をなるべく受け

てみて下さい。

（生涯教育委員長：天野 守計）



第2回 フレッシュヤーズセミナー 報告

平成24年7月1日
静岡県放射線技師会事務所にて

平成24年7月1日に、県技師会事務所にてフレッシュヤーズセミナーを開催しました。

内容は、技師会説明、エチケット・マナー講座、医療安全講座、感染対策講座、気管支・胸部解剖講座を昨年と同様に開催しました。

参加者は合計21名、そのうち今年度新人は11名の参加を得られました。

入会説明では、公益法人日本診療放射線技師会は職能団体として、会員に対し有益な改革を行っていくことなどを説明した。また静岡県放射線技師会の歩みや公益法人になった経緯などを説明し、会員が増えることによって、静岡県としての意見を発言することが可能となるため、多くの方に御理解を頂き、会員になって頂けるよう働きかけました。

エチケット・マナーでは、身だしなみや挨拶など基本的なことを中心に、先輩技師として院内での生活態度に注意し、患者さんが何を求めているのか、どのようにすることで満足度が上がるかは、対応する技師の接遇によって与える印象は様々であることを、実例を踏まえて説明がなされました。

医療安全では、基本的な考え方を中心に、医療安全の確立における今までの経緯を説明し、実際に起こった過去に報道された事例を紹介し、講師自身の病院における事例を出すことで、より身近な事象を知ること、医療事故の発生率や重篤度を抑制することができるなどの説明がされた。

感染対策講座では、空気、飛沫、接触による感染経路や感染症の事象の説明がされた。最近では就職時に病院毎に研修されているケースが多いのが現状です。われわれ技師は直接患者さんに触れるケースが多いために、我々がいかに清潔に保つ

ことと、患者さんからの感染をいかに防ぐかが重要と考えます。

気管支・胸部解剖講座では、昨年と同様に気管支の解剖学では、気管支の走行や支配について、3D-CT画像にて説明し、気管支体操を交えて習得してもらい、一般撮影やCTにおける分枝名を理解することが目標です。また肺の機能については、肺の生理学を説明しました。

今回で2回目となりましたが、新人の参加者は昨年より多い印象で、主催者側としても内容を吟味し、新人の方を始め多くの方に様々な場面にて、より早く正確な情報を提供できるように努力していきます。

(生涯教育委員長 天野 守計)

起こす。この特性を変えることは不可能である。したがって、唯一残された道は、作業を構成する人以外の要素、すなわち薬剤、機器、文書、手順等の「作業方法」を改善することである。エラープルーフはプールプルーフ、パカヨケ、ポカヨケなどの様々に異なる名前と呼ばれているが、これらはすべて「作業方法を人間に合うように改善する」点で本質的に同じである。

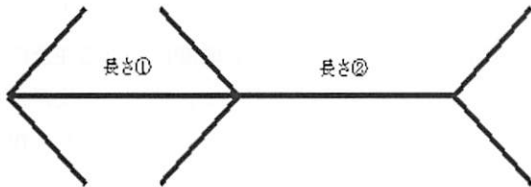


図2 ミュラーの錯視

3. エラープルーフ化の原理

「作業方法を人間に合うように改善する」というエラープルーフ化の対策には様々なものがある。しかし、多くの事例の背後にあるのは少数の基本原則であり、これを知ることによってエラープルーフ化の対策を系統的に考案できるようになる。

図3はエラープルーフ化の5つの原理を示したものである。最初の3つの原理は、エラーの発生防止をねらいとしている。エラーを防ぐ最も効果的な方法は、エラーしやすい作業を不要にすることである。また、これが不可能な場合は、機械等により信頼できるもので置き換えることが考えられる。これも難しければ、作業を人にとって容易なものにすることになる。これらの3つの原理はそれぞれ「排除」「代替化」「容易化」と呼ばれる。例えば、カルテやサンプル等の受け渡しにおけるエラーに対する「排除」の対策としては、担当者が直接作業を行い、不要な受け渡しを取り除くことが考えられる。

また、人工呼吸器の加湿器のスイッチを入れるのを忘れるエラーに対する「代替化」の対策としては、人工呼吸器のスイッチをいれると加湿器のスイッチが自動的に入るようにしておくことが考えられる。

同一のカートリッジに入った異なった濃度の薬剤を間違えて使用するエラーに対する「容易化」の対策としては、薬剤部で予め濃度の高い方に明るいオレンジ色のテープをはっておくことが考えられる。また、指示された時間に与薬するのを忘れないように、投薬時間を標準化しておくのも「容易化」の例である。

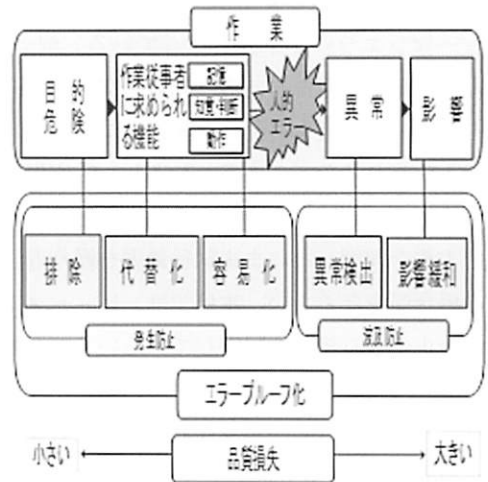


図3 エラープルーフ化の原理

他方、図3の残りの2つの原理は、エラーが事故に発展するのを防ぐことをねらいとしている。

一つの方法は、エラーによって引き起こされる異常を検出し、作業の担当者または他の人が適切な正処置を取ることができるようにすることである。また、もう一つの方法は、作業の中に冗長性や保護を組み込むことでエラーの影響を緩和することである。これらの2つの原理は「異常検出」「影響緩和」と呼ばれる。

与薬の指示におけるエラーに対する「異常検出」の対策としては、指示が患者の体重や年齢と不整合な場合には即座に注意を促すようなオーダー・エントリー・システムを使用することが考えられる。また、麻酔装置の窒素タンクの接続口に誤って酸素タンクをつなぐエラーを防止するために、接続口の形状を変えて誤ったタンクがつかないようにしておくことで、作業従事者に容易にエ

ラーを気づかせるのも「異常検出」の例である。

血液バンクにおける血液型の判定エラーに対する「影響緩和」の対策としては、2つのサンプルを患者から取り、それらを独立した2人の技師に試験させ、結果が一致した場合にだけ正しい判定とすることが考えられる。

4. エラー防止のためのチーム活動

エラープルーフ化を進める場合、一つの医療プロセスを選び、関係者が集まって具体的な検討を行うことが必要である。図4は、この場合の検討の進め方を示したものである。

ステップⅠでは、FMEA（Failure Mode and Effects Analysis：失敗モード影響分析）などを用いて作業に潜在するヒューマンエラーのリスクを洗い出すとともに、それぞれのエラーの危険性を評価して対策が必要なエラーを明らかにする。ここでのポイントは、いかに抜け落ちなく、危険なエラーを洗い出すかである。

ステップⅡでは、ステップⅠで特定した1件1件のエラーに対して、そのリスクを軽減するための対策を立案する。エラープルーフ化の原理やそれらをわかりやすい質問に整理した対策発想チェックリストを活用し、従来の枠にとらわれずなるべく多くの案を考えるのがよい。

ステップⅢでは、ステップⅡで考えた多くの案の中から最も効果的と考えられる案を選んで実施する。検討すべきエラーの数や評価・選択すべき対策案の数が増えるにつれて、少数の案に絞り込むことが難しくなる。SPN（Solution Priority Number：対策優先指数）などを活用しながら一定の手順に従って簡単なスクリーニングを行った後、より詳細な検討を行うことが、議論の効率化をはかる上でポイントとなる。

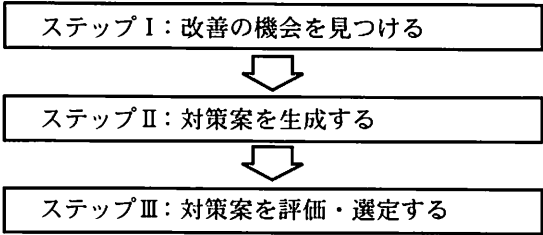


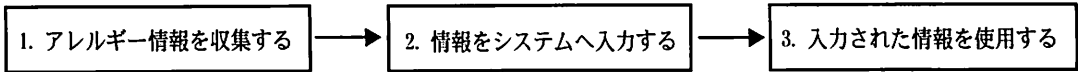
図4 エラープルーフ化のためのチーム活動

図5は、患者・家族等から薬に対するアレルギーの有無を聞いて、情報システムに入力し、与薬の際に使用するプロセスに対してFMEAを適用した例である。この例では、全体のプロセスを3つのステップに分けた後、それぞれを複数のサブプロセスに分解している。その上で、各々のサブプロセスについて起こりそうなエラーを複数書き出し、それらに対する対策の必要性をRPN（Risk Priority Number：危険優先指数）を用いて評価している。このような分析を全プロセスにわたって行うことで、見落としていたエラーの可能性に気づくことができるとともに、それまで観念的に捉えていたエラーが具体的に理解できる。

表1は、RPNの高いエラーについて、対策発想チェックリストを用いてエラープルーフ化の対策案を考えた例である。単に「何か作業方法を工夫できないか」と考えるのではなく、一項目一項目に対して案を強制的に考えることで数多くの対策案を思いつくことができる。

表2は、表1の対策案を評価した結果である

SPNを用いることで、すべての対策案をその詳細に立ち入ることなく点数付けした後、高い値を持つ少数の対策案に焦点を絞って実施すべき対策の詳細を検討することができる。このようなステップを踏むことで、会合の時間をより効率的に使うことができる。



サブプロセス

- 1a. 看護師 / 薬剤師等が患者 / 家族等からアレルギー情報を得る
- 1b. アレルギー情報を文書化する
- 1c. カルテの表に付ける

サブプロセス

- 2a. 入力するシステムを選ぶ
- 2b. アレルギー情報を入力する
- 2c. 反応タイプを入力する

サブプロセス

- 3a. 与薬する前に看護師がアレルギーを確認する
- 3b. 薬のオーダーごとに薬剤師が確認する



サブプロセス	失敗モード	影響	原因	発生度	致命度	検出度	RPN
2a. 入力システムを選ぶ	2a1. 間違ったシステムを選ぶ	間違った情報に基づく与薬	2a1a. システムに関する知識不足	4	4	2	32
	2a2. 入力を抜かす	間違った情報に基づく与薬	2a2a. 中断 2a2b. 時間がない	4	4	4	64
2b. アレルギー情報を入力する	2b1. 間違った / 不統一なアレルギー情報に気づかない	間違った情報に基づく与薬	2b1a. システム間の相互参照ができない	4	4	4	64
	2b2. 途中までしか入力しない	間違った情報に基づく与薬	2b2a. 緊急事態による中断	4	4	4	64
	2b3. 入力すべきところにNAを入力する	間違った情報に基づく与薬	2b3a. NAが標準になっている	4	4	4	64
	2b4. アレルギー一覧から選び間違える	間違った情報に基づく与薬	2b4a. アルファベット順に並んでいる	4	4	4	64
	2b5. 患者を間違える	間違った情報に基づく与薬	2b5a. 似た名前の患者がいる	3	4	4	48
2c. 反応タイプを入力する	2c1. 反応タイプの入力を抜かす	患者・家族への再確認が必要となる	2c1a. 最後の入力である	4	1	3	12
	...		...				

図5 アレルギー情報の収集と活用のプロセスに対するFMEAの適用例

表 1 「アレルギー一覧から選び間違える」に対する対策案

対策発想チェックリスト	対 策 案
作業を取り除けないか？	・ほかの病院のアレルギー情報を利用する ・患者に自分で入力してもらう
自動化できないか？	・記入用紙をマークシート式にする ・手書き文字認識を使用する
指示、基準、ガイド等の支援を与えられないか？	・質問に対して Yes、No で答えてもらい、候補リストを絞り込めるようにする
変化・相違を少なくできないか？	・大まかなカテゴリを選び、次に細目を選ぶようにする
変化・相違を明確にできないか？	・似たものの名称が隣同士に並ばないようにする
...	...

表 2 「アレルギー一覧から選び間違える」に対する対策案の評価結果

対 策 案	有 効 性	コ ス ト	継 続 性	総 合
他の病院のアレルギー情報を利用する	3	1	3	9
患者に自分で入力してもらう	1	3	1	3
記入用紙をマークシート式にする	2	2	2	8
手書き文字認識を使用する	1	2	3	6
質問に対して Yes、No で答えてもらい、 候補リストを絞り込めるようにする	3	2	2	12
大まかなカテゴリを選び、次に細目を選ぶようにする	3	2	3	18
似たものの名称が隣同士に並ばないようにする	3	2	1	6
...				

5. まとめ

人間が携わるあらゆる作業においてエラー防止が問題となる。エラー防止におけるエラーブルーフ化の重要性を理解すること、様々な職場においてエラーブルーフ化を実現するためのチーム活動を推進すること、そのような活動を組織全体で支援することが大切である。このような基本を理解した上で、より多くの医療機関がエラー防止に取り組み、成功をおさめられることを期待したい。

参考文献

[1] 中條武志 (2010) : 「人に起因するトラブル・事故の未然防止と R C A」、日本規格協会。

始めよう超音波検査 腹部・体表から心臓・血管まで

藤枝市立総合病院

秋山 敏一

はじめに

超音波検査の対象は全身であり、探触子の切り替えて対応が可能である。

また、超音波診断装置は機能の向上とともに小型化が進んでいる。GE社のVscanは携帯電話サイズの究極のポータブル装置といえる。まさに第2の聴診器として携帯できるものとなった。

腹部エコー

超音波検査は、検査の妨げとなる骨や消化管ガスをさけて検査を進める。よく見えない時は、呼吸操作や体位変換を積極的に行い、広く走査することで見えてくる。特に左側臥位は肝・胆道系の描出に有用である。また、「見えないだろう・異常はないだろう」と思うと、見えるものも見えなくなってしまう。「見える・異常を見つける」意欲が必要である。

走査は、まず対象となる臓器を短軸像で走査しオリエンテーションを付けながら病変を探し、次に長軸像で再確認しながら記録を取ることで、効率の良い検査ができる。そして、上腹部に留まらず下腹部まで走査する。膀胱・前立腺・子宮・卵巣は膀胱に尿が溜まっている方が観察しやすいので、尿検査は超音波検査後とする。下腹部に移動するときは、腹部大動脈を描出しながら移動し、腹部大動脈瘤の有無をチェックする。提示した症例は私が救急で初めて遭遇した腹部大動脈破裂の症例である。破裂する大きさになる前に指摘したいものである。

また、消化管も積極的に走査する。消化管を観察する時は、拡大しフォーカスを浅く設定するだけで異常に気付き易くなり、高周波探触子で精査することで、診断に至ることができる。

腹部大動脈瘤破裂

59Y/M. 腹部痛

腹部大動脈瘤の破裂の30%は初診時に尿管結石などに誤診される？



コンタクトコンパウンドスキャン
プロカ USC-120

東京 IC1-00A

表示サイズ

Q. 所見なし？

通常表示



拡大表示
焦点を浅く



A. 大腸炎

高周波探触子を用いた拡大表示



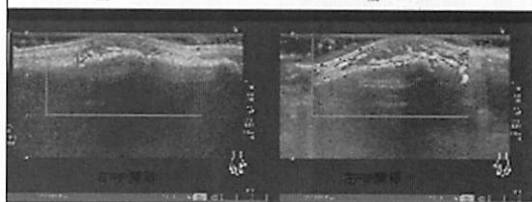
キャンピロバクター腸炎

関節リウマチ

41Y/F. 関節痛

痛み(+)

痛み(++)



関節リウマチの滑膜は血流が豊富である程炎症が強い。

体表エコー

乳腺・甲状腺が主であるが、最近は整形外科領域の超音波検査が注目されている。リウマチによる関節炎の程度はドプラ法で評価可能で、炎症が強いほど、血流は増加する。また、従来の静止画

評価から、超音波の長所であるリアルタイム性を生かして、バネ指の診断等動画での評価も増えてきている。

心工コ一

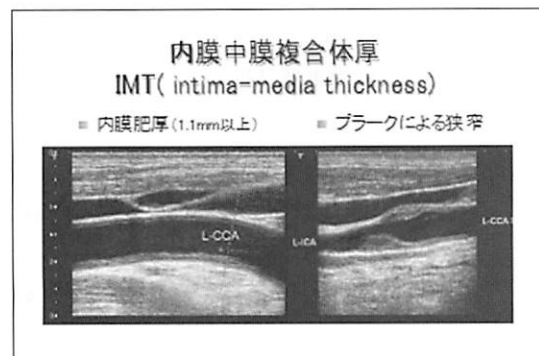
心エコーでは、左室壁運動の評価に苦慮することが多い。心臓には呼吸性移動もあり、息止めをすることで安定した画像が得られる。

急性心筋梗塞では壁厚の変化が減少すること、
陳旧性心筋梗塞では壁の菲薄化と壁エコーレベル
が上昇することが読影のポイントであり、冠動脈
の支配領域を考慮しながら診断する。



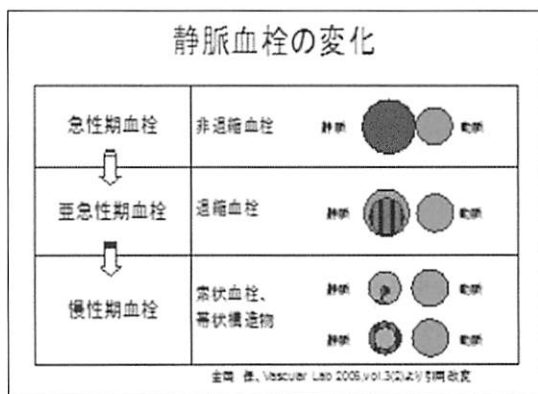
血管エコー

頸動脈エコーでは、IMTが1 mmを越える場合は異常となるが、治療の対象となるのは狭窄率70%以上の有意狭窄であるので、過剰反応にならないように注意したい。

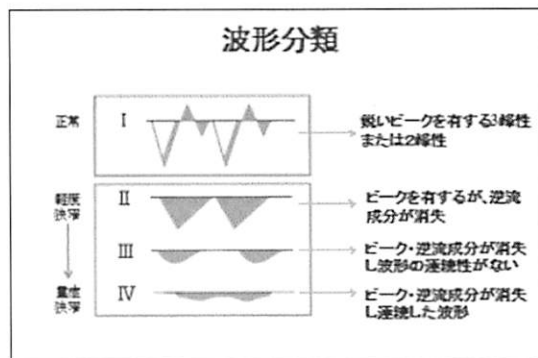


下肢静脈エコーのポイントは、ソフトタッチである。探触子を押し付けてしまいがちであるが、静脈は内圧が低いので、圧迫されると容易に内腔

が消失して同定できなくなる。もっとも、血栓のある静脈は圧迫されても内腔が残るので、異常は指摘できる。



下肢動脈エコーのポイントは、拍動が触知できる鼠蹊部、膝窩部、足関節部に探触子を当て、血流波形を解析することで中枢側の病変の有無を推測する。正常波形は逆流成分のある3峰性の波形を示すが、狭窄があれば狭窄の程度により波形は平坦化してくる。

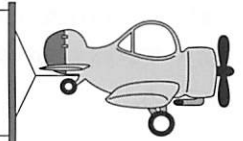


まとめ

紙面の関係で超音波検査の各領域の主なポイントのみの掲載となったが、これを機会に超音波の検査対象を広げ、早期発見・早期治療に努めて頂きたい。

メッセージボード

平成24年6月現在



東部地区

◎経過報告

H24/04/26(木) 第1回幹事会

「沼津市立病院」 出席者13名

- ① 今年度幹事紹介
- ② 第49回東部地区会通常総会反省
- ③ 平成24年度事業計画について
- ④ 第1回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会について
- ⑤ 第17回静岡県放射線技師会学術大会について

H24/05/24(木) 第2回幹事会

「沼津市立病院」 出席者15名

- ① 第1回公益社団法人静岡県放射線技師会通常総会について
- ② 第17回静岡県放射線技師会学術大会について
- ③ 第1回放射線セミナー、胃がん検診従事者講習会について
- ③ ふれあい広場について
- ④ 結婚・訃報の連絡について

H23/06/18(月) 第1号 地区会だよりの発行

◎行事予定

H23/06/28(木) 第3回幹事会

H23/07/21(土) 第1回放射線セミナー・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会開催

H23/09/13(木) 第4回幹事会

中部地区

◎経過報告

3月3日 平成23年度第2回放射線セミナー及び

平成23年度第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会

〔もくせい会館〕(44名参加)

【学術情報】

・「造影剤 最新の話題について」

第一三共株式会社 東海支店

造影剤・肝臓領域担当 佐々木 達 先生

【放射線セミナー】

・「2012年度 診療報酬の改訂について」

第一三共株式会社 東海支店

医療環境担当 佐藤 智英 先生

【胃がん検診エックス線撮影従事者講習会】

・「胃ガン検診の考え方」

市立島田市民病院 消化器内科

主任部長 森下 宗自 先生

4月26日 平成24年度 第1回幹事会

〔静岡厚生病院〕(8名参加)

地区会長挨拶

役員自己紹介

県技師会理事会報告

連絡網の整備について

幹事の役割分担について

今年度の事業計画について

地区会ニュースの発行について

5月13日発行 平成24年度 第2回幹事会

〔インターネット メール会議〕

地区会長挨拶

会計用パソコンの故障に対する対応について

◎行事予定

7月 中部地区会ニュース 発行

9月15日 平成24年度

第1回胃がん講習会およびセミナー

西部地区

◎経過報告

○3月3日(土)

平成23年度静岡県放射線西部地区会総会

第3回 西部地区勉強会

第2回 放射線セミナー

[浜松商工会議所] 参加者98名

プログラム

第3回 西部地区勉強会

「Gd造影剤(プロハンスを中心に)の安全性
に関する最近の情報について」

エーザイ株式会社 東海エリア

画像診断領域担当 市川 篤 先生

「放射線科医が望む乳房画像(MMG・MRI)」

浜松医科大学医学部附属病院 放射線科

那須 初子 先生

第2回 放射線セミナー

「整形外科の画像診断－読影のポイント－」

聖隷浜松病院 整形外科

骨・関節外科 部長 森 論史 先生

○4月27日(金)

第1回静岡県放射線西部地区会幹事会

[磐田市立総合病院] 参加者21名

① 会長挨拶

② 役員自己紹介

③ 事業計画について

④ 各委員会報告

◎行事予定

○勉強会

6月30日(土)

平成24年度第1回静岡県放射線西部地区会勉強会
[浜松商工会議所]

プログラム

第1回 地区勉強会

「腎障害患者におけるヨード造影剤使用に
関するガイドラインのご報告」

バイエル薬品(株) R&I事業部

東海営業所 高橋 秀剛 先生

第1回 放射線セミナー

「(仮)肝臓疾患の診断から治療まで」

聖隷三方原病院

肝臓内科部長 坂西 康志 先生

第1回 胃がん検診講習会

「症例から学ぶ 基準撮影法ですべきこと」

医療法人社団綾和会浜松南病院

放射線科 佐藤 慎祐 先生

11月17日(土)

平成24年度第2回静岡県放射線西部地区会勉強会
[浜松商工会議所]

平成25年3月2日(土)

平成24年度第3回静岡県放射線西部地区会勉強会
[会場未定]

○社会活動

9月23日(日) 浜松友愛広場(健康広場参加)

○レクリエーション

8月5日(日) 鮎つかみ取り&バーベキュー大会

10月19日(金) ボーリング大会

○編集

西部TIPS発行 年3回予定

○総会

平成25年3月2日(土) 平成24年度静岡県放射線西部地区会通常総会
[会場未定]

本 会 の 歩 み

(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

H24/ 1 /14(土)

第16回放射線技師のためのセミナー

〔新事務所 フェリス本通り〕 参加37名

H24/ 1 /19(木)

第18回 常任理事会

和田・廣瀬・石向・山本・菊地・稲垣・畑

足立・鈴木・藤池・田中

H24/ 1 /21(土)

新春公開講演会

〔静岡県男女共同参画センターあざれあ〕

会員57名 賛助会員31名 一般県民15名

和田・廣瀬・山本(英)・石向・稲垣・菊地

畑・足立・鈴木・藤池・田中・寺田・平入

滝口・大木・窪野

第20回アール祭

参加 会員22名 賛助会員24名

H24/ 1 /22(日)

第2回西部地区 ふれあい広場

〔浜松市総合産業展示館〕 骨密度体験者295名

H24/ 1 /22(日)

静岡県「緊急被ばく医療研修(除染)」

〔島田市民病院 会議室〕 技師会会員5名

H24/ 1 /26(木) 第19回 常任理事会

和田・廣瀬・石向・山本・稲垣・畑・足立

藤池・田中

H24/ 1 /29(土)

東部地区会

第2回放射線セミナー

第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会

〔順天堂大学保健看護学部〕 参加71名

H24/ 1 /29(日)

第11回静岡県マンモグラフィ事前講習会

〔聖隷三方原病院 大ホール〕

撮影技術：21名 読影 医師：14名 参加

H24/ 2 / 4 (土)

第4回理事会

〔新事務所 フェリス本通り〕 役員28名出席

和田・廣瀬・山本・石向・菊地・稲垣・畑

足立・鈴木・藤池・田中・天野(仁)・倉田

池谷・滝口・大木・窪野・岩田・寺田・遠藤

長屋・齋藤・塚本・小池・延澤・鈴木(久)

塚本・天野(守)

H24/ 2 / 9 (木)

第20回 常任理事会

メール会議

H24/ 2 /11(土)

第35回MR I 部会研究会

〔静岡県立総合病院 循環器センター 6F つ
つじホール〕 参加31名

H24/ 2 /17(金)

静岡県原子力防災情報伝達訓練

県原子力防災情報伝達訓練に合わせて東部・

中部・西部地区会員への机上伝達訓練の実施

H24/ 2 /19 (日)

第54回超音波部会研修会

〔静岡済生会総合病院地下講堂〕 参加24名

H24/ 2 /21(土)

第53回東海四県放射線技師学術大会

〔長良川国際会議場 4階 大会議室〕

H24/ 2 /23(木)

第21回 常任理事会

和田・廣瀬・石向・山本・菊地・稲垣・畑

足立・藤池・田中・鈴木

H24/ 2 /24(金)

学術委員会

寺田・平入・北爪・坪井・大川・奥川・有谷
天野(宜)

H23/ 2 /25(土)

第18回乳腺画像部会研修会

〔藤枝市立総合病院 講堂〕 参加者15名

H23/ 2 /28(火)

編集委員会

稲垣・足立・藤池・早坂・本杉・三輪・野末

H24/ 3 / 3 (土)

西部地区会

第3回西部地区勉強会・放射線セミナー

〔浜松商工会議所〕 参加98名

H24/3/3(土)

中部地区会

第2回放射線セミナー

第2回胃がん検診X線撮影従事者講習会

平成23年度中部地区会通常総会

[もくせい会館] 参加44名

H24/3/6(火)

編集委員会

稲垣・足立・藤池・大瀧・三輪・野末

H24/3/8(木)

第22回 常任理事会

和田・廣瀬・石向・山本・菊地・稲垣・畑

足立・藤池・田中・鈴木

H24/3/10(土)

肺がん検診従事者講習会

[県医師会館] 参加13名

H24/3/11(日)

第41回(社)静岡県放射線技師会通常総会

[パルシェ 7階 第1会議室] 参加者34名

和田・廣瀬・山本・石向・菊地・稲垣・畑

足立・鈴木・藤池・田中・滝口・窪野・岩田

塚原・山田(浩)・毛受・田沢

資格審査 会員数 856名 / 有効票決数 619名

第1号 議案 否決 2 賛成602 無効15

第2号 議案 否決 4 賛成603 無効12

第3号 議案 否決 4 賛成602 無効13

平成23年度放射線技師研修会

H24/3/16(金)

災害対策委員会・企画調査委員会・管理士部会
合同委員会

廣瀬・牛場・大須賀・杉森・遠藤(雅)

榛葉・岩田

H24/3/17(土)

第3回胃がん検診X線撮影従事者講習会

第50回東部地区会通常総会

[NTT東日本伊豆病院] 参加45名

H24/3/17(土)～3/18(日)

第11回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会

[静岡がんセンター研究所しおさいホール]

県内講師6名を派遣

H24/3/24(土)～3/25(日)

第11回静岡県マンモグラフィ読影講習会

[静岡がんセンター研究所 しおさいホール]

県内講師4名を派遣

H24/3/29(木)

しずおかジャーナルVol.21 No.3 発送

稲垣・足立・藤池・早坂・大瀧・三輪・菊地

鈴木

会 員 動 静

(敬称略)

(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

【入 会】2名

東部：児玉 幸優 国際医療福祉大学熱海病院

中部：柴田 純一 榛原総合病院

【転入会】3名

東部：中屋 良宏 静岡県立静岡がんセンター

←千葉県

西部：吉用 眞志 楽天堂整形外科 ← 山梨県

下郷 智弘 磐田市立総合病院 ← 愛知県

【退 会】23名

東部：鈴木 敏之 豊橋医療センター

垣内 幹夫 富士市立中央病院

三井田基善 自宅

渡邉 篤史 三島中央病院

下山 哲郎 自宅

伊藤 大介 市立伊東市民病院

山口 統 市立伊東市民病院

杉山 真吾 市立伊東市民病院

中部：荒川 佳也 自宅

佐野 峯元 城西神経内科クリニック

瀧谷 正人 静岡市立清水病院

河合 秀紀 静岡市立清水病院

山本 博之 自宅

村田 恒夫 静岡県立総合病院

西部：永田 素広 市立御前崎総合病院

森田由紀子 自宅

須摩 均 自宅

大石 哲久 すずかけセントラル病院

畑田 智子 新都市クリニック

佐藤 幸夫 浜松赤十字病院
 外山 欣吾 自宅
 延澤 秀二 自宅
 福島 浩 菊川市家庭医療センター

【転 出】6名

東部：石垣 裕貴 伊豆下田病院 →千葉県
 田中 諭宇 伊豆慶友病院 →山梨県
 吉田 覚 熱海温泉クリニック
 →神奈川県
 清王 尊仁 自宅 →愛知県
 今野 雅裕 杉山病院 →神奈川県
 西部：高橋 こず枝 総合病院聖隷三方原病院
 →長野県

【勤務移動】3名

東部：齊藤 竜平 国際医療福祉大学熱海病院
 ←伊豆保健医療センター
 中部：奥村 正義 聖隷静岡健診クリニック
 ←自宅
 西部：内山 能近 自宅 ←浜松とよおか病院

【電報】4名

西部：山城 寛（袋井市民病院）御尊父様弔電
 中部：宿島 久志（島田市民病院）御尊父様弔電
 三重県放射線技師会会長北野様
 御令室様弔電
 西部：松浦久美子（掛川市立病院）結婚祝電

会員総数	834名
東部	262名
中部	266名
西部	306名（平成24年3月31日現在）

本会への寄贈図書

（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

H24/1/5 会報 1月号 2012

北海道放射線技師会

H24/1/5 東京放射線2012年1月

Vol.59No.691

H24/1/18 秋田県放射線技師会会誌

平成24年 第49号

H24/1/18 埼玉放射線 vol.60 2012No 1

H24/1/20 新潟県放射線技師会々報

第75号 2011.12.10

H24/1/25 富山県放射線技師会報 Vol.69 2012

H24/2/2 神奈川放射線

Vol.64 No. 5 jan 2012

H24/2/4 放射線やまぐち 2012 Vol.239

H24/2/4 東京放射線2012年2月

Vol.59 No.692

H24/2/10 福岡県放射線技師会誌 第314号

Jul.31.2012 No. 1

H24/2/13 大分放射線第86号 january.2012

H24/2/13 会誌No.31 2012.3

岡山県放射線技師会

H24/2/20 宮崎県放射線技師会会誌

創立60周年記念誌

H24/2/20 MART 会報 77号 2012.1 Vol.111

宮城県放射線技師会

H24/2/23 宮崎県放射線技師会会誌

2012.2 Vol.91

H24/2/27 三重県放射線技師会誌

265号 2012.2 Vol.62 No. 2

H24/3/2 東京放射線

2012年3月 Vol.59 No.683

H24/3/2 兵庫県放射線技師会雑誌

Vol.71-③2012.3.1

H24/3/15 岩手放射線 第38号 2012

H24/3/16 埼玉放射線 vol.60 2012 No 2

創立60周年記念誌 別冊

H24/3/28 岐阜県放射線技師会雑誌

第77巻 通号113号

平成24年度 第1回理事会 議事録

1. 開催日時 平成24年4月21日(土)
14時～16時30分
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通1丁目3番地5
フェリス本通り202号
3. 理 事 17名 監事 2名
4. 出 席 者
和田健、田沢範康、山本英雄、
三浦孝夫、畑利浩、片山昇、西谷収利、
島田洋一、佐々木幹晴、鈴木博寿、玉田宏一、
児玉吉彦、寺田理希、秋山洋、片山善博、
田中睦生、倉田富雄(監事)、近藤仁(監事)
欠席者：大木義彦

(1) 会長あいさつ

平成24年度第1回理事会を開催いたします。平成22年4月から公益法人化検討委員会を立ち上げ、主務官庁である静岡県医務課との会議を数多く重ね、平成23年6月25日に臨時理事会、9月4日に臨時総会において公益法人化に伴う申請書類等の承認をいただきました。

県との細部にわたる文言の検討等を重ね、平成23年12月9日に静岡県公益等審議会に当技師会が審議に上がりました。平成24年1月13日の2回目の審議会の中で答申をいただき、1月19日に県医務課より認定書をいただきました。認定書は東海浜松会計事務所の税理士を通じて司法書士により法務局へ提出し、社団法人の解散登記と公益社団法人の設立登記を行いました。登記完了証明書を県医務課に提出し、これにより平成24年度から公益社団法人静岡県放射線技師会として新定款の下会務を遂行してまいります。

従来理事会の中で行われていた部会・委員会の報告等は理事会の前又は後に別途開催するよう開催形式を変更し、理事会は定款通り理事・監事の

みで開催することといたします。

定款第34条第1項により、和田会長が議長に就任いたしました。定款第36条第4項により、議事録作成人 畑常任理事が指名されました。

(2) 報告事項

① 会長報告 和田会長

第5回中部放射線医療技術学術大会に関して
・公益法人日本放射線技術学会中部部会との合同開催。第5回は静岡県が当番県(輪番)
大会長：和田健(静放技会長)、副大会長：竹田浩康会員(技術学会・浜医大)、実行委員長：山本英雄(静放技副会長)、副実行委員長：寺田理希(静放技理事)
開催期日 平成24年11月3日～4日
アクトシティ浜松コンgresセンター
大会テーマ「未来のベクトルを考える放射線技術」
ホームページを準備中 演題登録も可能となるため多数の学会参加をお願いしたい。

日本放射線技師会より

・放射線被ばくに関する個別相談窓口についての協力依頼
環境省から個別相談窓口の開設依頼(福島県以外でも)

静岡県：相談に対して和田会長が対応
日放技に報告している

・日本放射線技師会創立65周年記念式典
平成24年6月1日 東京パレスホテル開催
診療放射線業務功労者の厚生労働大臣表彰
(各県1名推薦) 中瀬静登名誉会員推薦

・第28回日本診療放射線技師学術大会
平成24年9月28日～30日 名古屋国際会議場
事前登録期間 平成24年3月1日～8月31日
参加登録方法 ・ホームページより各自申込
・各都道府県に配布した事前登録券購入

(静岡県：登録券 210枚)

多数の会員の参加をお願いしたい

(意見交換会 40枚)

公益社団法人静岡県放射線技師会 平成24年度・25年度役員について

・理事17名・監事2名の承認をいただいた

(臨時総会H23.9.4)

中部地区推薦 大木義彦理事に関し、中村診療技術部長を通じて藤枝市立総合病院長が不承認との連絡あり→理事辞任

・新役員紹介(任期:平成24年4月1日～平成26年5月25日総会終了時)

代表理事	和田 健(会長)	浜松南
理事	田沢 範康(副会長:東部)	聖隷沼津
理事	山本 英雄(副会長:西部)	聖隷三方原
理事	三浦 孝夫(総務)	県立総合病院
理事	畑 利浩(総務庶務)	島田市民
理事	片山 昇(庶務一般)	社保桜ヶ丘
理事	西谷 収利(庶務会員管理)	焼津市立
理事	佐々木幹晴(会計)	遠州
理事	島田 洋一(編集)	静岡赤十字
理事	鈴木 博寿(広報)	三島社会保険
理事	児玉 吉彦(中部組織理事)	静岡厚生
理事	寺田 理希(西部組織理事)	磐田市立
理事	玉田 宏一(東部組織理事)	富士宮市立
理事	片山 善博(学術)	

聖隷健康診断センター

理事 秋山 洋(企画調査)

伊豆保健医療センター

理事	田中 睦生(公益推進)	聖隷浜松
監事	倉田 富雄	富士市立中央
監事	近藤 仁	静岡市立静岡
事務職員	石川美代子	

② 副会長報告

東部:田沢副会長

・特にありません

西部:山本副会長

・特にありません

③ 常任理事報告

総務:菊地前理事

- ・3月26日 県会員のみの会員に会費請求を発送
- ・3月29日 賛助会費、ジャーナル広告費請求
- ・本日(4月21日)委嘱状をお渡ししました。施設長には来週くらいに発送
- ・各都道府県技師会・県内関係団体への公益社団法人移行の挨拶はがきを発送(来週)
- ・5月12日(土)総会会場下見 8名(新旧役員)
- ・総会・学術大会役実行委員に進行表・台本・委嘱状等を5/20までに発送
- ・講演会・研修会等の会議室確保が困難となっている。新春講演会予定会場のあざれあひの144名の大会議室のみ空いている(7/1～予約可)会議室確保をどうする検討していきたい

総務・庶務:畑理事

- ・情報は全て会務メールに流します。アドレス・パスワードの引き継ぎをお願いします。

庶務一般:足立前理事

- ・3/19 県に平成23年度胃がん講習会・マンモグラフィ講習会の報告
- ・平成24年度につきましても、講習会を開催したらパンフレット(会告)、出席者名簿、収支報告書の提出をお願いします。
- ・役員の委嘱状の表記に誤りがありました。お詫びいたします。
- ・会員動静について

(平成24年1月1日～3月31日)

入 会:2名

児玉 幸優(東部)、柴田 純一(中部)

転入会:3名

中屋 良宏(東部)、吉用 眞志(西部)、
下郷 智弘(西部)

退 会:23名

東部:鈴木 敏之、垣内 幹夫、三井田基善
渡邊 篤史、下山 哲郎、伊藤 大介
山口 統、杉山 真吾(8名)

中部：荒川 佳也、佐野 峯元、瀧谷 正人
河合 秀紀、永田 素広、山本 博之
村田 恒夫（7名）

西部：森田由紀子、須摩 均、大石 哲久
畑田 智子、佐藤 幸夫、外山 欣吾
延澤 秀二、福島 浩（8名）

転出：（6名）

東部：石垣 裕貴、田中 諭宇、吉田 覚
清王 尊仁、今野 雅裕

西部：高橋こず枝

新入会2名、転入会3名、退会23名は新定款
第3章第6条に基づき本理事会での採決をお願い
いたします。

和田会長

退会是新定款では会長が退会届を受理したとき
とありますので、新・転入会、転出につき採決を
行います。

反対 0名 保留0名 賛成 16名
（全会一致承認）

庶務会員管理：鈴木前理事

- ・平成23年度の会員数・会費納入状況
総会員数 833名 未納者数 64名
（18名は3/31までに2年間会費未納）
- ・9/30で2年未納となる会員46名
- ・3/31をもって会員資格喪失された18名につ
きましてご承認ください。

和田会長

定款第11条第1項第3号 会員資格の喪失につ
き理事会承認の採決を行います

反対 0名 保留0名 賛成 16名
（全会一致承認）

・日放技から学術大会開催1か月前に申請書の提
出の要請有り（今年度から）

参加証明書にポイント数を表記

→日放技からの連絡が遅ければ対応不可というこ
とは日放技に連絡済

会計：田中前理事

- ・4/3 平成23年度の会計を〆 4/12 常任理事
会にて報告
 - ・本日（4/21）12時より監査を実施
- 編集：稲垣前理事
- ・議案集・予稿集に一部決定していない部分があ
りますので、5月11日の発送予定が遅れること
もあります
 - ・ジャーナルNo.1に新役員顔写真・挨拶を掲載
予定

広報：藤池前理事

- ・学術大会の広報（公開講演会のポスター作成）
一部訂正 聖隷健診サポートセンター→聖隷健
康サポートセンター
- ・県庁社会部・関係団体へも広報しました

和田会長

常任理事報告の中でご質問があればお受けいた
します。

廣瀬前副会長

副会長報告の際、地区会の会務状況にふれては
いかがでしょうか

和田会長

地区会長報告もありますので、そのへんは副会
長におまかせします。

④ 地区選出理事報告

東部：滝口前理事

- ・2/16 地区幹事会開催
- ・3/17 地区総会・胃がん従事者講習会開催
講習会講師は寺島先生（静岡がんセンター）
- ・5/12 第43回総会会場下見予定

中部：大木理事（代：山本副会長）

- ・2/3 平成23年度第3回中部地区幹事会

出席者11名

- ・ 2 / 15 平成23年度中部地区会ニュース新春号
発行
- ・ 3 / 3 中部地区総会・第2回放射線セミナー
- ・ 第2回胃がん従事者講習会開催
(もくせい会館)
- ・ 4 / 26 平成24年度第1回幹事会開催予定

西部：窪野前理事

- ・ 3 / 3 第3回西部地区勉強会・第2回放射線
セミナー開催 参加者98名
西部地区総会 参加者57名
- ・ 3 / 16 西部地区会役員引継会 参加者19名
- ・ 平成24年度事業計画(案)
H24/6/30 第1回西部地区勉強会・第1回胃
がん検診従事者講習会
H24/11/17 第2回西部地区勉強会・第2回胃
がん検診従事者講習会
第1回放射線セミナー
H25/3/2 地区総会・第3回西部地区勉強
会・第2回放射線セミナー

⑤ 常設委員会理事報告

学術：寺田前理事

- ・ H24/2/24 新春公開講演会・アール祭の反省
第17回静岡県放射線技師学術大会の確認
- ・ 学術委員も決定したので、平成24年度第1回学
術委員会開催予定(7/10)

企画調査：岩田前理事

委員会開催

- ・ 3 / 16 3回合同会議開催 平成23年度原子力
緊急時対策研修会反省

研修会開催

- ・ 3 / 11 平成23年度 静岡県放射線技師研修会
パルシェ7階第1会議室 参加者 34名
「ヒューマンエラー防止への工学的アプローチ」
「肝臓領域における診断から治療まで」

和田会長

今までの報告事項の中でなにか質問はございま
せんか→質問なし
引き続き監事報告をお願いします。

⑥ 監事報告

天野(仁) 監事

- ・ 平成23年度監査を実施しました。

石川事務員：報告事項なし

(3) 協議事項

① 平成23年度(社)静岡県放射線技師会

事業報告の件

和田会長

総括

- ・ 東日本大震災に伴う放射線・放射能に関する被
ばく相談の実施
- ・ 事務所移転
- ・ 公益法人化の経緯
- ・ 事業内容報告

公1 セミナー等による診療放射線技師の向上発
展のための研修事業

公2 体験活動・講演、相談等の事業による放
射線検査に関する知識の普及啓発事業

公3 研修、訓練等による放射線管理及び安全推
進事業

その他事業・相互扶助事業

常任理事報告・事業経過・各地区会事業報告・
学術(委員会・部会)事業報告・委員会報告

和田会長：平成23年度事業報告について意見・質
問はございせんか→質問なし

採決を行います。

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

(全会一致承認)

② 平成23年度(社)静岡県放射線技師会

決算報告の件

田中前理事：(抜粋して説明)

- ・ 賛助会員会費・広告掲載収入 減少事業活動収

- 入としては55万円程減収
- ・事業費支出 負担金支出 大幅増→胃がん・マンモ講習会開催負担金
- ・管理費支出 会議費支出 大幅増→公益目的事業に関する役員交通費等を含む
- ・当期収支差額 65000円程のマイナス次期繰越金213万円ほど
- ・合算請求のため3月に会費納入された分が反映されていないことをご理解ください

和田会長：65周年事業準備預金取得支出→65周年事業以外使用不可のお金（別通帳管理）
平成23年度決算報告について意見・質問はございませんか→質問なし

採決を行います。

反対 0名 保留 0名 賛成 16名（全会一致承認）

③ 平成23年度（社）静岡県放射線技師会 監査報告の件

倉田監事

- ・本日（4/21）技師会事務所にて監査を行いました。
- ・事業報告・通帳・議事録を監査指摘事項なし。
- ・公益目的事業比率が68%であったことを報告いたします。

和田会長：監査報告について意見・質問はございませんか→質問なし

採決を行います。

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

（全会一致承認）

④ 公益社団法人 静岡県放射線技師会 理事辞任に伴う補欠選挙の件

和田会長

- ・理事1名辞任 役員変更届を県の行政庁にも提出手続きを進める
- ・第43回総会時に理事の補欠選挙を行う 理事は総会承認（第4号議案として補欠選挙）
- ・候補者氏名 森 佳久（もり よしひさ）
市立島田市民病院

- ・総会承認後登記手続きを進めていく

補欠選挙を行うことについての理事会承認を採決いたします

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

（全会一致承認）

森会員の承認が得られるまでは大木会員が会務を執行（定款第26条第3項）

⑤ 公益社団法人 静岡県放射線技師会 副会長及び常任理事選定の件

- ・定款第32条第1項第3号 理事会において副会長及び常任理事が選定される

・副会長：田沢 範康、山本 英雄（大木 義彦）が選定された

・常任理事：三浦 孝夫（総務）、畑 利浩（総務庶務）、片山 昇（庶務一般）、西谷 収利（会員管理）、島田 洋一（編集）、佐々木 幹晴（会計）、鈴木 博寿（広報）が選定された

⑥ 公益社団法人 静岡県放射線技師会 業務執行理事選任の件

- ・定款第21条第3項 副会長及び常任理事は業務執行理事に選任

・業務執行理事は欠格事由の確認をチェックされる→重い責任を負うことを自覚してください。

理事、監事も同様

和田会長：副会長・常任理事の選任並びに業務執行理事選任について採決します

反対 0名 保留 0名 賛成 16名

（全会一致承認）

⑦ 公益社団法人 静岡県放射線技師会 理事会会議形式変更の件

和田会長

- ・常任理事会に理事会の会議形式の変更を提案
- ・案1 従来通り部会長・委員長も出席し直接報告を行う
- ・案2 部会報告は西部副会長（学術）、委員会報告は東部副会長（委員会）が報告
→部会長・委員長は出席しない
- ・常任理事会では案2の形式が推薦された

・出席は理事・監事のみで開催（定款通りの開催形式）

和田会長：質問はありませんか？

倉田監事：副会長が独自に委員長・部会長との会合を行うのか？

和田会長：年に数回合同部会長（委員長）会議のような会を開く、部会・委員会の運営会議は部会・委員会が各々開催する。

和田会長：案2（常任理事会推薦）形式での開催について採決します

反対 0名保留 0名賛成16名（全会一致承認）
ただし、第1回理事会には部会長・委員長も出席していただく

⑧ 役員等の保険加入の件

和田会長

・従来では常任理事・編集委員（16名）については傷害保険をかけていた→会議回数が多い

1人当たり8190円×16名＝131040円/年（会議があってもなくても）

・役員等支給規程 第9条 定款第21条に定める役員（理事・監事）を保険に加入させる
第2項に会長が特別に必要と認めた会員については前項を適用する→保険に加入する

・保険について3月総会で質問有り
→会務等で参加する際、施設によっては出張扱いされないが、災害にあった場合技師会としてどのような対応を考えているか？

→保険会社に相談 リクレーション安心プラン（会議開催含む）提案される

・前年度会議回数（実績）をもとに計算
→98円/人/回前年実績54回（対象人数20名）
105840円/年（98円/人/回*20人*54回）

部会会議・事務職員分を含めると従来とほぼ同額となると思われる。対象役員の範囲は拡大、保障内容も充実→リクレーション安心プランに変更

・会議を開催する場合、1か月前までに事務職員に連絡

事前の名簿提出は不要 保険会社への報告は事

後報告

・地区会事業に関しては、地区会でも対応していただく

保険加入に関して質問はありませんか

→質問なし

役員等の保険加入に関して承認の採決を行います。

反対 0名保留 0名賛成16名（全会一致承認）

⑨ 会費納入状況について

鈴木前理事

納入状況は報告事項で報告した通りです

和田会長

9月30日までに納入していただくようにお声掛けをお願いいたします

⑩ その他

1）第43回公益社団法人静岡県放射線技師会総会及び第17回静岡県放射線技師学術大会

開催のついで

滝口前理事

・誤字・所属違い等がありますので修正して5/20までに送ります。

・会場係りにつきましては適正人数に修正しました。

・アナウンサーは技師でなければなりませんか（確認事項）

→技師である必要はありません（和田会長）

和田会長

・表彰が多数ありますので、表彰補助の女性の選出をお願いします

・旅費の要不要の連絡をお願いします

稲垣前理事

・参加証を編集の方で作成しました。

和田会長：その他ご質問はありませんか

→質問なし

総会・学術大会の運営についての承認の採決をとります。

反対 0名保留 0名賛成 16名（全会一致承認）

2) 企画申請書・企画報告書の件

山本副会長

- ・お金の使い道を明確にするため、企画申請書・報告書の提出をお願いします。
- ・年度初めに年間事業予算計画を提出していただく（部会・地区会・委員会）
- ・研修会・講習会開催ごと、開催前に企画申請書を別途提出。
- ・見本を見ながら企画書・報告書を作成してください
- ・企画書・報告書はホームページからダウンロードして使用してください。

お願いいたします。

寺田前学術委員長

- ・領収書はコピー不可ですか。

山本副会長

- ・領収書はコピーで構いません。

原本は各地区会・部会・委員会の監査で必要と思われそうですので…。

* 議長が、ほかに報告事項、協議事項がないか諮ったところ、全員より「特になし」の声が上がったので議長は議事の終了を宣言し16時35分閉会した。

天野生涯教育委員長

平成24年 4 月22日

- ・日放技が企画し地方開催する研修会についても企画申請書を提出するのか。

山本副会長

- ・一旦静岡県放射線技師会に入金されるので、企画申請書・報告書を提出してほしい。

奥川超音波部会長

- ・部会の年間企画書を出し、予算の割り振りを計画するというのはいつまでですか。

山本副会長

- ・第1回目の研修会を開催する前までには提出していただければと思います。

奥川超音波部会長

- ・部会研修会各回の企画申請書の提出期限はいつまででしょうか。

山本副会長

- ・開催1か月をめぐに常任理事会に提出してください。
- ・報告書も終了後1か月くらいまでに提出してください。

奥川超音波部会長

- ・従来年間の部会会計報告を提出していましたが不要となりますか。

田中前理事

- ・年間会計報告は別途報告していただきますよう

平成24年度 部会・委員会連絡会議 議事録

1. 開催日時 平成24年4月21日(土)
16時35分
2. 場 所 静岡県放射線技師会事務所
静岡市葵区本通1丁目3番地5
フェリス本通り202号
3. 出席者
新役員
理 事 和田 健、田沢範康、山本英雄、三浦孝夫、畑 利浩、片山 昇、西谷収利、島田洋一、佐々木幹晴、鈴木博寿、玉田宏一、児玉吉彦、寺田理希、秋山 洋、片山善博、田中睦生
監 事 倉田富雄、近藤仁
部会長 奥川 令(超音波)、大川剛史(MRI)、長屋重幸(アンギオ)、齋藤 忍(乳腺画像)、片岡純也(管理士)
委員長 飯塚知幸(選挙管理)、池谷幸一(情報管理)、天野守計(生涯教育)、鈴木久士(医療安全)
事務局 石川美代子
旧役員
理 事 廣瀬信雄、石向田鶴男、足立敏明、鈴木武成、稲垣 充、藤池 悟、滝口昇吾、窪野久行、岩田敏秀
監 事 天野仁志
部会長 遠藤佳秀(超音波)、荒木重雄(MRI)
委員長 塚本隆男(選挙管理)
計 41名

欠席者 大木義彦、小池澄男、菊地直樹
4. 議 長 和田 健 議事録作成 畑 利浩

1) 役員紹介

和田会長
部会長 奥川 令(超音波)、大川剛史(MRI)、長屋重幸(アンギオ)、齋藤 忍(乳腺画像)、片岡純也(管理士)
委員長 飯塚知幸(選挙管理)、池谷幸一(情報管理)、天野守計(生涯教育)、鈴木久士(医療安全)、小池澄男(表彰:欠席)(理事兼任)、山本英雄(事務所管理運営)、田沢範康(災害対策)、片山善博(学術)、秋山 洋(企画調査)、田中睦生(公益推進)

マンモグラフィ講習会実行委員→県に名簿を提出

① 部会報告

超音波部会:遠藤前部会長

- ・H24/2/19 第54回超音波部会研修会
テーマ「消化管」 静岡済生会病院 25名参加
- ・H24/3/18 第30回東海超音波研修会
ウィングあいち 188名参加(静岡県17名)

予定
・H24/6/16 第55回超音波部会研修会
静岡済生会病院

MRI部会:荒木前部会長

- ・H24/2/18 第35回MRI部会研修会
静岡県立総合病院 31名参加
- 内容: MRI検査の安全性全般について

アンギオ部会:長屋部会長

- ・報告事項は特にありません
- ・平成24年度について 部会長を含め6名で運営役員選出施設様にはお礼申し上げます
- ・H24/10/27 部会研修会開催予定
内容は後日お知らせいたします

乳腺画像部会:齋藤部会長

- ・H24/2/25 第18回乳腺画像部会研修会を開催
(藤枝市立総合病院) 15名参加
- 他の研修会・施設の行事等と重なってしまった

ことが一因→日程変更や広報についても検討していかなければならない

・H24/3/17～18 第11回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会

県内講師 6名派遣 合格率 55.3%

・H24/3/24～25 第11回静岡県マンモグラフィ読影講習会

県内講師 4名派遣 合格率 51.0%

管理士部会：片岡部会長

・H24/3/21 管理士部会役員会

県放射線技師会事務所

・H24/6/30 第17回放射線技師のためのセミナー開催予定

被ばく相談に対する対応

新部会長からの追加報告はなし

② 委員会報告

表彰委員会：小池委員長（欠席） 代：和田会長

・4月最終土曜日に表彰委員会開催予定

永年勤続表彰等について話し合う予定

選挙管理委員会：塚本前委員長

・特にありません

事務所管理運営委員会：山本副会長

・旧事務所査定価格300万円 早めに売却したい
→売却金の運用は売却後に検討

情報管理委員会：池谷委員長

会告・求職求人につきましては、ホームページ上に掲載

<公益法人化に関する運用の報告>

・「公益社団法人」移行後の諸規程変更について
ホームページ掲載

・「公益社団法人」諸規程・新旧対比表
ホームページ掲載

・役員交代に伴い、会務メールのパスワードを更

更したい（総会終了後をめど）

パスワードをそのまま引き継ぎたい場合には事前に連絡を

和田会長：諸規定に関して誤表記が散見される理事会承認で変更できるので、順次変更していきたい

社員（会員）名簿・財産目録・定款・諸規程等を事務所に揃えておきたい

生涯教育委員会：天野委員長

・報告事項は特になし

・行事予定

6/17 中日本ブロック 乳房撮影講習会

アクトシティ浜松コンgresセンター

7/1 フレッシュアップセミナー県技師会事務所（予）

9月 医療画像情報精度管理士移行一斉更新講習会+試験（日放技に6/20までに企画申請）

和田会長：医療画像情報精度管理士移行対象59名（静岡県）（厳密には平成25年度までに移行する）6/20までに企画申請書の提出をお願いします

医療安全推進委員会：鈴木委員長

・特に報告事項はなし

・委員会メンバー一新されるので連絡を密に取り会を運営していきたい

災害対策委員会：田沢副会長

・11/11 原子力災害緊急時対策研修会開催
会場・講師について現在打診中

和田会長：何かご質問等ございますか？

奥川部会長：日放技のホームページ上、静岡県のポイント対象研修会等の掲載がない。愛知・岐阜等は掲載されているがどうなっているのか？

鈴木前理事：日放技には再三連絡済み。

静岡県から申請した研修会等は全てポイントが付いていることは確認済み。日放技からの返答は「順次行っている」とのこと。県としてできることは全て行っている 日放技の対応待ち。

和田会長：会長会議の際、意見を述べておきます。

和田会長：次回からは担当副会長が理事会報告を行います。担当副会長は部会長・委員長と連絡を密に取り、合同会議等を開催して多数の会員が出席するような企画を検討していただきたいと思います

以上で部会・委員会連絡会議を終了いたします

第1回 公益社団法人 静岡県放射線技師会総会 議事録(抄)

場所:富士ラ・ホール会議室

日時:平成24年5月27日(日) 9時30～10時35分

出席理事:和田 健、田沢 範康、山本 英雄
三浦 孝夫、畑 利浩、片山 昇
西谷 収利、佐々木幹晴、島田 洋一
鈴木 博寿、玉田 宏一、児玉 吉彦
寺田 理希、片山 善博、秋山 博
田中 陸生

監 事:倉田 富雄、近藤 仁

議 長:佐藤 正明、天野 宜委

議事録作成者:三浦 孝夫

線技師会総会を開催いたします。

はじめに、和田会長から挨拶があります。

2. 会長挨拶

和田 会長

皆様おはようございます。総会を始めるに当たって一言挨拶を申し上げます。平成22年4月1日より公益法人化検討委員会を発足させまして定期総会、臨時理事会、臨時総会等々で承認をいただき、かつ主務官庁での申請書類等の指導をへて本年4月1日に公益社団法人として新たなスタートをすることになりました。それもひとえに役員の皆様方の献身的な支えと、会員の皆様方のご協力、ご支援によるものと深く感謝申し上げます。

公益法人における公益目的事業の定義であります「不特定、かつ多数の者の利益の増進に寄与する」このことを念頭に入れ会務を遂行していく所存であります。公益法人に恥じない職能団体として、県民の福祉の向上と健康維持増進に努力していきたいと考えております。今回の大会のテーマ「県民に貢献する放射線医療」こそ、まさに的を得たテーマであり、診療放射線技師の職業倫理を高揚するとともに、放射線の安全利用及び診療放射線技術の向上発展を図り、もって県民の安心安全な医療を効率よく受けていただくためにも我々、診療放射線技師に課せられた重要な役割であります。

7月1日には新人を対象にしたフレッシュャーズセミナーを予定しております。CT・MRIでの造影剤自動注入後の抜針、止血、そして下部消化管の造影時のネラトンチューブの挿入などの行為対

《次 第》

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 表 彰
4. 議長団選出
5. 議 事
 - 第1号議案 平成23年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 平成23年度決算報告承認の件
 - 第3号議案 平成23年度監査報告承認の件
 - 第4号議案 理事辞任に伴い補欠選挙承認の件
 - 第5号議案 本部提出議案
 - 第6号議案 地区提出議案
6. 議長団解任
7. その他
8. 閉会の辞

1. 開会の辞

総会司会(玉田 宏一 総会運営委員長)

定刻になりましたのでご着席下さい。携帯電話の電源はお切りになるかマナーモードでお願いします。只今より、第1回公益社団法人静岡県放射

する実習等の教育プログラムも今後企画をされております。

入会者の特典として免許取得1年以内の新入会員の入会金の無料化と、会費の減額や再入会者の入会金の無料化も昨年同様に実施していきますので非会員の皆様が入会されますようお願い申し上げます。

さて、9月28日から3日間、名古屋国際会議場で開催されます第28回日本診療放射線技師学会大会の事前参加登録が開始しております。静岡県割り当てとして、事前参加登録券210枚、情報交換会事前登録券40枚を用意しておりますので日本放射線技師会、静岡県放射線技師会、両会員は技師会事務所での購入の受付を宜しくお願いします。なお、学会大会ホームページからも申し込み可能となっております。近隣県での学会大会ですので多数の皆様の参加をお願いします。

次に今年度の大きな事業として、第5回中部放射線医療技術学会大会は、静岡が開催県として、11月3日、4日にアクティシティ浜松コンgresセンターで開催を予定しています。近日中に学会大会のホームページを立ち上げますので、多数会員の演題発表と会員への参加をお願いいたします。

会費納入について技師会会費の納入期限が9月30日までとなっておりますので、例年会費の納入が期限を過ぎても、納入されないということが起きています。これは県の監査でも数年前から指摘されています。機会あるごとをお願いしているが、やはり各職場等で会費の納入について議論され、積み立てをするなり工夫があらうかと思いますが、特に公益社団法人になりますと会費の納入率が悪いと会員の減少につながり、公益法人の維持への厳しい審査が行われることになります。ぜひ会員の皆さんに会費納入期限を守っていただくようお願いしたいと思います。

最後に今総会、学会大会の開催に当たりまして、ご尽力いただきました滝口実行委員長はじめ、東部地区役員、実行委員の皆様にお礼を申し上げ、

大会の挨拶とさせていただきます。今日も一日よろしくお願いいたします。

3. 表 彰

玉田 総合司会

次に表彰に移らせていただきます。小池澄男表彰委員に進行をお願いいたします。

小池 表彰委員

只今より表彰を行います。名前をお呼びしますのでご起立をお願いします。尚、敬称は省かせていただきます。

《永年勤続35年表彰》 11名

《永年勤続20年表彰》 27名

20年永年勤続者代表 村瀬 渉(沼津市立病院)

《感謝状》 16名

代表 廣瀬 信雄

《松本賞》 瓜倉 厚志(県立静岡がんセンター)

小池表彰委員より表彰者の発表があり、代表者に和田会長より賞状と記念品が手渡され表彰式が行われた。

4. 議長団選出

玉田 総合司会：それでは、議事に入りたいと思いますが、議長の選任につきまして、如何取り計らいましょうか。

《 会場より司会者一任の声あり。 》

玉田 総合司会：司会者一任の声がありましたので、こちらより指名させていただきます。それでは、中部地区よりJA静岡厚生連清水厚生病院の佐藤正明会員、西部地区より磐田市立総合病院の天野宜委員会、この2名の方をお願いします。

5. 議 事

佐藤 議長：ご指名いただきましたJA静岡厚生連清水厚生病院の佐藤正明です。よろしくお願いいたします。

天野 議長：磐田市立総合病院の天野宜委です。よろしくお願いいたします。

佐藤 議長：それでは、本日の第1回総会の資格審査を本部より報告をお願いします。

寺田 理希 総会運営委員：それでは資格審査委員より本日の通常総会成立に関しまして、ご報告いたします。定款第23条には、現会員数815名の過半数をもって総会の成立が定められております。10時現在、出席者83名、表決状472名であり、出席者・表決状の数が定款に定められた過半数を満たしておりますので、本総会の成立をここに報告いたします。

佐藤 議長：本部より本総会の成立が報告されましたので、これより議事にはいります。議事報告にはいる前に、総会運営委員の任命を致します。

書 記：片山善博 会員

採決係：児玉 吉彦 会員、寺田 理希 会員

稲垣 充 会員、岡村 将弥 会員

議事録署名人：西谷 収利 常任理事

片山 昇 常任理事

以上よろしく願いいたします。

進行は総会次第に則り、第1号議案を佐藤正明が、第2号議案から第4号議案までを天野宜委が担当いたします。今年の本総会では、それぞれの議案について質疑応答と採決をすることといたします。それでは、平成23年度の事業報告をお願いいたします。

和田 会長：それでは平成23年度の事業報告をさせて頂きます。

総括といたしまして、3.11東日本大震災に伴う放射線・放射能に関する健康電話相談は約420件の県内外住民から放射線・放射能に対する健康不安についての相談をうけ、4月から技師会事務所へのFAXによる相談による相談に切り替え、かつ技師会ホームページ上で放射線検査や被ばく相談にも応じてきた。その相談内容も当初は外部被ばく線量による健康不安が多く見られたが日が経つにつれ、内部被ばく線量の測定機関などの問い合わせが多くなってきた傾向であります。

(社)日本放射線技師会でも、47都道府県に

被ばく相談員を配置して、その相談内容等についての報告を吸い上げることにより情報の共有化を図っております。

(社)静岡県放射線技師会では地震災害等の危険性を認識し老朽化した事務所での任務遂行に伴う役員などの人命尊重の観点から平成22年8月25日に新事務所を購入し、平成22年度3月総会にて住所変更による定款改正を経て平成23年4月28日に登記を完了して平成23年6月から新事務所での任務を開始しました。

公益法人化への移行を念頭にして平成22年4月1日に法人化検討委員会を発足し、常任理事・監事を含めた拡大法人化検討委員会で5回に亘り法人法改定内容の学習と検討、公益法人移行へ対応する新定款案・諸規程案の検討・作成について協議を重ねてまいりました。平成23年3月の第39回総会に於いて公益法人化を目指す事が決議されました。平成23年6月25日臨時理事会、平成23年8月13日、平成23年度第2回理事会で諸規程案が承認され、平成23年9月4日臨時総会にて平成24・25年度理事・監事就任予定者の承認、公益社団法人静岡県放射線技師会定款案の承認、平成23年度事業計画一部修正案の承認、平成23年度収支予算一部修正案の承認がなされました。その後、総ての申請書類を電子申請にて実施し数回の修正依頼を受け再提出して平成23年12月9日「静岡県公益認定等審議会」で当技師会の申請内容について審議され、平成24年1月13日「静岡県公益認定等審議会」で再び公益法人への移行について審議され、移行認定が県知事へ答申されました。平成24年1月20日移行登記日を4月1日に予定しており、その希望について「移行認定日の配慮願い」を県医務課に提出しました。平成24年3月19日に県庁にて公益社団法人としての認定書を会長が受理しました。その後手続きをし解散登記、移行登記を4月1日で完了して今に至っております。

事業としてはセミナー・講演・学術大会・研修会等による診療放射線に関する最新情報や技術向

上発展の研修事業、放射線検査に関する知識の普及啓発事業そして研修・訓練等による放射線管理や安全推進事業も積極的に開催されて各種専門部会での活発な情報交換が行われ、その技術を臨床現場に反映することができたと考えます。胃がん検診従事者講習会や肺がん検診従事者講習会も、早期発見に向けて更なる技術向上を図るべき研修会を開催したり、各地区でのふれあい広場を利用しての放射線被ばく相談や超音波検査無料体験そして骨密度測定無料体験、また乳がん検診事業の啓発活動も行い、がん検診受診率向上にも努めました。

静岡県マンモグラフィ講習会に評価取得者の増加を図る目的で静岡県、(社)静岡県医師会、(社)静岡県放射線技師会、NPO法人マンモグラフィ検診精度管理中央委員会との共催で事前講習会そして第11回静岡県マンモグラフィ撮影技術講習会を開催しました。

医療安全の観点からは大きなアクシデントの報告もなく、各医療機関での診療放射線技師は、チーム医療の一員として県民に安心・安全そして効率的な医療の提供に日々努力してきました。

また、厳しい経済情勢が反映したためか会費の期限内納入が守られず再三の年会費の督促に対しても未納者の理解が得られず今後の会務遂行に支障をきたすことが懸念され会費納入への呼びかけも行いました。

診療放射線技師は、チーム医療の一員としての自覚と安心安全な医療の実践そして新しい医療情報の提供を行い専門職としてのスキルアップを図り、県民の健康保持および増進に寄与することができたと思われます。

主な事業活動として、公益1として、セミナー等による診療放射線技術の向上発展のための研修事業以下、議案集に載っている通りです。そして、公益2として体験活動、講演、相談等による放射線検査に関する知識の普及啓発事業以下議案集に載っている通りです。公益3として、研修、訓練

等による放射線管理及び安全推進事業、以下内容については記載されている通りです。その他の事業については、総会、議案集に載っている通りです。会員に対する相互扶助事業としてアール祭。以下、会務・事業経過・部会報告・専門部会報告等々ありますが内容につきましては議案集を参考にしてください。

以上で、23年度事業報告を終わらせていただきます。

佐藤 議長：それでは只今の平成23年度事業報告に対しまして質問がありましたらお願いします。

質問者は所属・氏名を述べてからお願いします。何かございませんか。

無いようですので表決に入ります。それでは、表決ハガキによる採決結果を報告します。

第1号議案の平成23年度事業報告は、

反対1名、保留0名、賛成471名です。

続いて会場採決を行います。挙手をお願いします。挙手は反対、保留、賛成の順で行います。

第1号議案の平成23年度事業報告は、

反対0名、保留0名 賛成73名。

よって第1号議案は賛成多数により、可決いたしました。それではここで議長を交代いたします。

天野 議長：第2号議案、平成23年度決算報告を田中陸生会計理事よりお願いします。

田中 会計理事：第2号議案、平成23年度決算報告します。資料の28ページから正味財産増減計算書、貸借対照表、収支計算書、財産目録となります。今年度から公益法人化で事業活動支出が予算に比べて増減が激しくなっています。これは、公益法人となりますと事業比率が50%以上を超えないといけなことから、配賦ということで数字が多少調整されています。今までは管理費の中に理事会、常任理事会の会議費用がすべて含まれていましたが、事業活動・その他の事業が配布の対象になります。事業活動収支の部の事業活動収入ですが、会費収入は会員収入においてほぼ予算どおりですが、賛助会員収入は減収になっています。

負担金収入は若干増加しております。委託金が多くなっているためです。広告掲載収入は不景気を反映して減収しております。

事業活動収入計は、

予算額：13,030,000円、決算額：12,479,749円、
差異 550,251円

事業活動支出ですが、これが先程の配賦が行われた項目です。負担金支出は、地区会委託金、胃がん講習会委託金、マンマ講習の費用等で公益法人化により組み込まれています。管理費支出ですが、総会資料の袋詰め、日当、公益化に伴う会議費用です。消耗什器備品支出は、新事務所の備品、パソコンの更新等です。消耗品費支出は、一昨年度に前倒して備品を購入しているためプラスになっております。

事業活動支出計は

予算額：12,326,000円、決算額：11,840,684円、
差異 485,316円

投資活動収支の部の投資活動収入ですが昨年度取り崩しとなっていました。口座が残っていて、昨年度分積みあがった部分です。

松本基金に関しては予定どおり取り崩しを行いました。投資活動支出ですが、投資活動差額は差異0円です。財務活動収支の部の当期収支差額でマイナスが出ておりますが、昨年度から日本放射線技師会と静岡県放射線技師会との合算請求となっていて、3月分が組み込まれていないためです。大きな問題はないと思われます。以上です。

天野 議長：続きまして、第3号議案、平成23年度監査報告を倉田富雄監事よりお願いします。

倉田 監事：＜平成23年度監査報告＞

平成23年度の監査報告をいたします。定款の第31条及び会計事務取扱第32条に基づきまして、中間監査を平成23年12月3日、年度監査を平成24年4月21日に地区事務所におきまして、表記の役員並びに事務職員立ち合いのもと天野監事と倉田立ち合いのもと監査を行いました。監査書類は事業報

告書、収支決算書、財産目録、入出金伝票、領収書、預金通帳等であります。監査意見といたしまして、貸借対照表及び正味財産増減計算書は定款に従い財産及び損益の状況を正しく示しているものと認めます。

会長報告にありましたが、会費の納入状況につきましては、それ相当の努力を認めますが今年度から公益になると、これからもより一層の努力をお願いします。また、監査報告書には記載していませんが、今年度から公益になるということで平成23年度分の公益比率を計算しましたら68%でしたので報告します。以上であります。

天野 議長：それでは、只今の平成23年度決算報告・平成23年度監査報告に対しまして質問がありましたらお願いします。質問者は所属・氏名を述べてからお願いします。何かございませんか。

伊藤 会員：西遠クリニックの伊藤です。事業報告の収支で639,065円残ったということによろしいですね。

田中 会計理事：事業活動支出ということで、これだけ残ったということによろしいと思います

伊藤 会員：この間、事務所の購入、公益法人化とご苦労があったと思います。事務所・公益化が一段落したと思うが、会費の事務所購入の2千円が160万から170万程が事務所の購入費として買う前まであったと思うが、そのお金をそのまま残っているはずだが、おおよそ100万程が事業活動として不足していると解釈しますが。昨年も質問しましたが事務所購入、公益化でお金が必要とのことでしたが、次年度以降160万のお金がどのような収支になっていくのかお聞きしたい。

和田 会長：公益になるためには公益目的事業が50%以上ということで50%ぎりぎりでは県の審査で問題が生じます。現在公益目的比率が65%くらいになっています。今、公益をやりながら2つの大きな事業を別の帳簿に入れている。1つは65周年記念事業、これは来年平成25年度が静岡県の放射線技師会が65周年になるので65周年事業のため

に平成23年度に130万、平成24年度に130万、25年度に140万、トータルで400万の事業として65周年記念の中で記念式典、講演会、記念誌発行等々の事業をやるために別にとっておく必要がある。もう1つは事務所の営繕費プラス、今後何十年した時の次の事務所購入に向けてスタートしている。それが事務所営繕取得準備金として380万程入っています。マンションは50年が耐用年数と計算すると積立として年33万2千円程を一般会計からこちらの通帳に入れている。と考えると今の金額を会員に還元する(会費軽減)タイミングとしては平成26年度には可能と思われます。65周年事業が平成25年で終わりますので一般会計から特定事業のために資金を通帳を別にしてあります。平成26年度以降は、総会承認を得なければならないが、いくらか会費を軽減できると思っています。そこのお金を今は使えない状況にある。それは、公益目的事業に使用しなければいけないという縛りがあるためです。ご理解をいただきたい。

伊藤 会員：もう一点ですが、投資活動収支の部ですが松本基金は形として金額を残しておくべきと思うがどうですか。名称も含めどうですか。

和田 会長：お答えいたします。松本基金は以前静岡県放射線技師会会長を歴任された松本先生が会務帰路中に交通事故に遭いお亡くなりになりました。ご遺族の方より先生の遺志を組みご寄付いただきました。公益社団法人に移行する時に松本基金は公益目的事業の中では匹敵されない。逆に言うと公益目的事業から外します。公益目的事業比率が下がる。下がるということは会計士から公益目的事業を遂行するのに問題があると指摘され、お金を取り崩して、特別資金準備金の中で運用していく事になりました。

県の指摘により会計士の指導を受け、このような形式になりました。松本基金の名称はないが、松本賞の記念品は一般会計から支出することに諸規程ではなっている。松本賞は継続し行きますのでご理解を願いたい。

伊藤 会員：わかりましたが、330万とその他という形にはできないのか。あくまで、これは松本基金であるということにはならないのか。

和田 会長：それは出来ません。

天野 議長：よろしいですか。

他何かありませんでしょうか。

それでは無いようですので、表決に入りたいと思います。表決ハガキによる採決結果を報告します。

第2号議案の平成23年度決算報告は、

反対0名、保留0名 賛成472名です。

第3号議案の平成23年度監査報告は、

反対0名、保留0名、賛成472名です。

それでは会場採決を行います。挙手をお願いします。

第2号議案の平成23年度決算報告は、

反対0名、保留0名 賛成73名です。

第3号議案の平成23年度監査報告は、

反対0名、保留0名 賛成73名です。

よって第2号議案・第3号議案は賛成多数により、可決いたしました。

続きまして、第4号議案「理事辞任に伴い補欠選挙承認の件」を飯塚 知幸、選挙管理委員長よりお願いします。

飯塚 選挙管理委員長：選挙管理委員長のJA静岡厚生連清水厚生病院の飯塚です。定款第21条第2項の理事辞任に伴い理事1名の補欠選挙を定款第22条第1項により本日、第1回公益社団法人静岡県放射線技師会総会にて行います。候補者指名森 佳久さん、市立島田市民病院でございます。以上宜しくお願いします。

天野 議長：それでは、表決ハガキによる採決結果を報告します。

理事辞任に伴い補欠選挙承認の件は、

反対0名、保留0名、賛成472名です。

それではただ今の理事辞任に伴い補欠選挙の件に対して質問がありましたらお願いします。質問者は所属、氏名を述べてからお願いします。何かご

さいませんか。

では、会場採決を行います。挙手をお願いします。

第4号議案理事辞任に伴い補欠選挙承認の件は、
反対0名、保留0名、賛成73名です。

採決の結果、第4号議案は賛成多数により可決しました。

佐藤 議長：つづきまして、第5号議案本部提出議案、何かございますか

和田 会長：特にございません。

佐藤 議長：つづきまして、第6号議案各地区提出議案、何かございますか

各地区会長：特にございません。

佐藤 議長：その他、何か審議の必要案件ございましたらお願いします。他に無いようですので、
第1回公益社団法人静岡県放射線技師会総会の議事を終了いたします。

ご熱心な討議ありがとうございました。

以上を持ちまして議長団を解任させていただきます。

行事予定カレンダー (平成24年8月～11月)

8 月			9 月			10 月			11 月		
1	水		1	土		1	月		1	木	
2	木		2	日		2	火		2	金	
3	金		3	月		3	水		3	土	文化の日
4	土		4	火		4	木		4	日	11月3～4日 第5回中部放射線医療 技術学術大会(静岡)
5	日		5	水		5	金		5	月	
6	月		6	木		6	土		6	火	しずおかジャーナル 第3回編集会議 初稿
7	火		7	金		7	日		7	水	
8	水		8	土		8	月	体育の日	8	木	第15回 常任理事会
9	木	第9回 常任理事会	9	日		9	火		9	金	
10	金		10	月		10	水		10	土	
11	土		11	火		11	木	第13回 常任理事会	11	日	平成24年度原子力緊急時 災害対策研修会
12	日		12	水		12	金		12	月	
13	月		13	木	第11回 常任理事会	13	土	第36回MRI部会研修会 第56回超音波部会研修会	13	火	しずおかジャーナル 第4回編集会議 2校
14	火		14	金		14	日		14	水	
15	水		15	土	第1回胃がん検診従事者 講習会(中部地区会)	15	月		15	木	
16	木		16	日		16	火		16	金	しずおかジャーナル 編集最終確認
17	金		17	月	敬老の日	17	水		17	土	第2回放射線セミナー、 第2回胃がん検診従事者 講習会(西部地区) 中部地区行事(ボウリング大会)
18	土		18	火		18	木		18	日	公開講座(静岡バルシェ)
19	日		19	水		19	金		19	月	
20	月		20	木		20	土		20	火	
21	火		21	金		21	日	東部 ふれあい広場	21	水	
22	水		22	土	秋分の日	22	月		22	木	第16回 常任理事会
23	木	第10回 常任理事会	23	日		23	火	しずおかジャーナル 原稿締め切り	23	金	勤労感謝の日
24	金		24	月		24	水		24	土	
25	土	第2回 理事会	25	火		25	木	第14回 常任理事会	25	日	
26	日		26	水		26	金		26	月	
27	月		27	木	第12回 常任理事会	27	土	第39回アンギオ部会研修会	27	火	
28	火		28	金		28	日		28	水	
29	水		29	土	9月28～30日 第29回日本診療放射線技師 学術大会(愛知)	29	月		29	木	
30	木		30	日	第33回 静岡ふれあい広場	30	火	しずおかジャーナル 第2回編集会議 寄稿	30	金	しずおかジャーナル Vol. 22 No. 2発行
31	金					31	水				

* 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌にてご確認ください。

* 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧ください。

編集後記

※今年度から編集委員長になりました島田洋一です。何とか発行しました。前任の編集委員長や編集委員の皆様にご教壇いただき、形ができました。正確な情報をお届けできればと思います。よろしくお願いいたします。(島田)

※はじめての編集のお仕事でした。、なんとか無事に終わってめでたしめでたしと言いたところですが、ほとんど編集委員長の島田さんと稲垣さんまかせで、自分は何もやってません。次回からはもうちょっとお手伝いできたらいいなあと思われます。(片山 昇)

※この5月の総会で正式に常任理事の役職を拝命し、広報担当として静岡ジャーナルの編集に関わる事になりました。今回は、右も左も、前も後ろも、表も裏も分からないまま、諸先輩方の指示にしたがっていただけですが、これからは研鑽を積んで何とか編集員としての仕事のホンの一端でも担っていけるようがんばる所存です。長〜く、温かい目で見守っていただけたらありがたいです。(鈴木)

※先日、久しぶりに船釣りに行きました。朝日の出るまえからお昼ごろまで船に乗ってただけで全身筋肉痛に、体力の低下を実感した次第です。(稲垣)

※昨年は大地震&大津波、そして今年は台風&豪雨と全国重大ニュースが絶えません。新年度になりました。微力ながら引き続き編集委員を担当させていただきます。新しい編集スタッフと共に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。(三輪)

※今年度も始まり、いろいろと環境が変わった方もいると思います。私もその一人で、新しいモダリティのトレーニングや自転車通勤を始めました。継続は力なり。勉強も自転車も投げ出さないように頑張ります(大瀧)

会誌「しずおかジャーナル」Vol.22 No.1 2012

平成24年7月28日発行

発行所 : 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202
社団法人 静岡県放射線技師会

発行人 : 和田 健

編集者 : 稲垣 充

印刷所 : 〒420-0876 静岡市葵区平和一丁目2-11

(株)六幸堂 TEL(054)254-1188 FAX(054)254-0586

事務所案内

執務時間 : 月曜日～金曜日 午前10時より午後1時まで。 TEL(054)251-5954

執務時間外は、留守番電話にてお受けいたします。 FAX(054)251-9690

URL <http://shizuhogi.jp>

E-mail address : shizuhogi@ac.auone-net.jp